

取手市学校施設長寿命化計画

－ 長寿命化改修工事基本方針 －

令和3年3月

取手市教育委員会

目 次

1. 学校施設の長寿命化の背景・目的等	1
1-1. 背景.....	1
1-2. 目的.....	1
1-3. 計画期間.....	2
1-4. 対象施設.....	3
2. 学校施設の目指すべき姿	5
3. 学校施設の実態	7
3-1. 学校施設の運営状況・活用実況等の実態.....	7
3-2. 学校施設の老朽化状況の実態.....	17
4. 学校施設整備の基本的な方針等	24
4-1. 学校施設の長寿命化計画の基本方針.....	24
4-2. 学校施設の規模・配置計画の方針.....	24
4-3. 改修等の基本的な方針.....	25
4-4. 目標使用年数，改修周期の設定.....	26
5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	27
5-1. 改修等の整備水準.....	27
5-2. 維持管理の項目・手法等.....	29
6. 長寿命化の実施計画	30
6-1. 改修等の優先順位付けと実施計画.....	30
6-2. 長寿命化のコストの見通し，長寿命化の効果.....	37
7. 長寿命化計画の継続的運用方針	38
7-1. 情報基盤の整備と活用.....	38
7-2. 推進体制等の整備.....	38
7-3. フォローアップ.....	38

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1-1 背景

本市は、高度経済成長期以降、首都圏の良好なベッドタウンとして発展し、人口の急増に伴い、昭和40年代後半から50年代にかけて集中的に学校施設の整備を行ったが、近年の児童生徒の減少に伴う学校統廃合によって、小中学校は20校に減少した。しかしながら、学校施設が公共施設全体の延べ床面積の58%を占め、今後、一斉に更新時期を迎えるなど、老朽化の波が押し寄せている状況である。

学校施設は、未来を担う子供たちが集い、生き生きと学び、生活をする場であるとともに、地域住民にとっては生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場であり、非常時には避難所としての役割も果たす重要な施設である。そのため、安全で安心な環境が確保されていることが何より重要なことであり、老朽化対策は先送りのできない重要な課題である。また、地域によって児童生徒数の増減の差があり、郊外地域の施設では、少子高齢化と人口減少により、児童生徒数が減少している。一方で、新たな住宅地の造成に伴い新市街地となったゆめみ野地区では児童数が増加している。また、中心市街地における大規模マンションの建設予定に伴い、児童数の増加が見込まれ、既存校舎での教室不足が予想されるなど、地域によって様々な課題が混在している。

1-2 目的

本市の学校施設は、昭和40年代後半から50年代にかけての児童生徒急増期に、一斉に建築されたものが多く、経年による老朽化や機能低下が進んでいる。学校施設の耐震補強工事は2017年度（H29）に完了し、構造的な安全性は確保されているが、今後、このように児童生徒急増期に一斉に建築された学校施設の老朽化が進むことで、集中的に改修・建替え（以下、「改修等」という。）の時期を迎えることにより、大規模な財政負担が見込まれる。このような状況において、事象が起きてから対処する事後保全型の対応ではなく、不具合の発生を未然に防ぐ予防保全型の管理への転換による施設の長寿命化や計画的な更新を図り、中長期的な維持管理などに係るライフサイクルコストの縮減及び財政負担の平準化、学校施設に求められる機能・性能を確保するため、本計画を策定する。そして、本計画に関する取組を推進することにより、将来を担う子供たちが生き生きと学び、生活する場所として、充実した学校環境の実現を目指す。

なお、本計画は、現状の学校規模や機能を維持することを前提とした施設の保全計画を策定するものであるが、具体的に施設の改修等を検討する際には、取手市公共施設等総合管理計画の基本理念や基本方針に基づき、学校規模の状況や児童生徒数の推移、学校周辺の公共施設の状況など、各学校を取り巻く環境を適切に反映させるものとする。

◆取手市公共施設等総合管理計画P. 30

・「基本理念」

- 理念1 時代や地域の変化に対応した市民サービスを継続的に提供する
- 理念2 将来世代に負担を先送りしない
- 理念3 市民と行政が共に進める公共施設の未来

・「基本方針」

方針1 施設需要の変化に応じた質と量の最適化

人口減少と、人口構造の変化やライフスタイルの多様化等、市民ニーズの変化に対応した公共施設等の最適な質と量を維持します。

なお、人口減少に伴って、機能を維持する方策を講じながら、公共施設の保有総量を段階的に縮減していくため、原則として新たな公共施設は建設しないものとします。ただし、政策上、新たな公共施設を計画した場合は、既存施設の廃止を進めることで、施設の保有総量の抑制を図るものとします。

方針2 計画的な保全による財政負担の軽減・平準化

計画的かつ優先順位づけを行った保全計画の実施により、長寿命化と財政負担の平準化を図っていきます。

方針3 市民等との協働とマネジメント体制の構築

市民との協働、民間事業者との連携等による効率的・効果的な公共サービスの実現と、それを実現するための庁内マネジメント体制の構築を行います。

◆取手市公共施設等総合管理計画P. 45

・数値目標の設定

公共施設の総量の縮減率として「27%」を数値目標として設定します。

1-3 計画期間

2021年度（R3）～2060年度（R42）

本計画は、学校施設の使用年数が数十年におよび、また学習内容や学習形態の変化に対応していくことが必要であるなど、中長期的な視点が不可欠であり、2021年度（R3）から2060年度（R42）までの40年を計画期間とする。

なお、学校環境の変化や財政状況に応じて、原則として、上位計画である公共施設等総合管理計画の見直し時に当計画も見直すこととする。

1-4 対象施設

本計画における対象施設を以下に示す。

図表 1-1 対象施設

2019 年度 (R1) 現在

■小学校									
No.	名称	校舎・体育館※1		学校プール(付属室)		給食室※2		子どもクラブ室※3	
		棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	室数	延べ面積	室数	延べ面積
1	取手小学校※4	4	7,142㎡	2	102㎡	1	524㎡	0	0㎡
2	白山小学校	6	4,885㎡	3	24㎡	1	136㎡	2	152㎡
3	寺原小学校	6	4,632㎡	2	37㎡	1	159㎡	0	0㎡
4	取手東小学校	4	5,552㎡	0	0㎡	1	195㎡	1	64㎡
5	永山小学校	3	6,519㎡	2	62㎡	1	247㎡	2	179㎡
6	戸頭小学校	4	5,956㎡	1	104㎡	1	183㎡	0	0㎡
7	取手西小学校	3	5,853㎡	1	60㎡	1	187㎡	2	128㎡
8	高井小学校	2	4,812㎡	1	60㎡	1	182㎡	2	124㎡
9	山王小学校	3	3,138㎡	2	41㎡	0	0㎡	2	127㎡
10	六郷小学校	2	2,945㎡	1	88㎡	0	0㎡	2	133㎡
11	藤代小学校※3	2	5,556㎡	1	10㎡	0	0㎡	1	217㎡
12	宮和田小学校	2	6,083㎡	1	86㎡	0	0㎡	2	128㎡
13	久賀小学校	3	5,228㎡	2	60㎡	0	0㎡	2	129㎡
14	桜が丘小学校	2	5,710㎡	1	83㎡	0	0㎡	2	128㎡
合計		46	74,011㎡	20	817㎡	8	1,813㎡	20	1,509㎡

■中学校							
No.	名称	校舎・体育館※1		学校プール(付属室)		給食室※2	
		棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積
1	取手第一中学校 ※5	4	7,680㎡	2	137㎡	1	206㎡
2	取手第二中学校	4	8,645㎡	2	79㎡	1	180㎡
3	永山中学校	5	5,543㎡	3	78㎡	1	173㎡
4	戸頭中学校	4	7,703㎡	4	54㎡	1	188㎡
5	藤代中学校	4	7,486㎡	2	81㎡	0	0㎡
6	藤代南中学校	4	8,293㎡	2	81㎡	0	0㎡
合計		25	45,350㎡	15	510㎡	4	747㎡

■給食センター			
No.	名称	棟数	延べ面積
1	学校給食センター	1	1,166㎡

■放課後子どもクラブ(単独棟)			
No.	名称	棟数	延べ面積
1	取手小放課後子どもクラブ室	1	204㎡
2	取手東小放課後子どもクラブ室	1	301㎡
3	寺原小放課後子どもクラブ室	1	301㎡
4	戸頭小放課後子どもクラブ室	1	301㎡

※¹学校施設内にある倉庫、部室、外部トイレなどの小規模な建物は対象外とした。
 ※²給食室は校舎に併設されているが、別棟として計上した。
 ※³放課後子どもクラブ室は、小学校校舎内(藤代小学校は体育館内)に併設(複合)されているが、室数として計上した。
 なお、単独棟の場合は別施設として計上した。
 ※⁴取手小学校の学校プール及び付属室は、校舎内に併設されているが、棟数として計上した。
 ※⁵取手第一中学校は、旧取手第一中学校跡地プールを利用していることから、学校プールを2箇所計上した。

図表 1-2 プールの状況

2019年度(R1)現在

■プールの状況								(単位:m)
No.	施設名称	建築年度 (西暦)	築年 (2019)	構造	規模			備考
					コース	寸法	小プール寸法	
1	取手小学校	2002	17	SUS	6	25X13	10X5	
2	白山小学校	1980	39	鋼板	5	25X11	13X6	・H29年度から休止 ^{※1}
3	寺原小学校	1969	50	RC	6	25X13	13X6	
4	取手東小学校	1977	42	鋼板	6	25X13	11X7.3	・H29年度から休止 ^{※1}
5	永山小学校	1970	49	RC	6	25X13	12X7	
6	戸頭小学校	2003	16	FRP	6	25X13	10X6	
7	取手西小学校	1982	37	SUS	6	25X13	13X6	
8	高井小学校	1982	37	SUS	6	25X13	13X6	
9	山王小学校	1979	40	RC	5	25X10	43.22㎡	小プール矩形ではないため面積計上
10	六郷小学校	1980	39	鋼板	8	25X16	13X6	
11	藤代小学校	2008	11	RC	7	25X15	12X7	・H31年度から休止 ^{※1}
12	宮和田小学校	1982	37	RC	8	25X16	14.5X6	・H29年度から休止 ^{※1}
13	久賀小学校	1975	44	RC	7	25X13.6	10.7X4.7	・R2年度から休止 ^{※1}
14	桜が丘小学校	1993	26	FRP	7	25X15	13X6.5	
15	取手第一中学校	1979	40	鋼板	7	25X15	—	・H24年度から休止 ^{※2}
16	旧取手第一中学校	2003	16	SUS	6	25X13	—	・取手一中が利用
17	取手第二中学校	1965	54	RC	6	25X13	—	・H29年度から休止 ^{※2}
18	永山中中学校	1966	53	RC	6	25X13	—	・H25年度から休止 ^{※2}
19	戸頭中学校	1976	43	鋼板	7	25X15	—	・H29年度から休止 ^{※2}
20	藤代中学校	1978	41	RC	8	25X16	—	・H28年度から休止 ^{※2}
21	藤代南中学校	1982	37	RC	8	25X16	—	・H29年度から休止 ^{※2}
※1)	民間プールを利用しているため使用していない。							
※2)	公営プールを利用しているため使用していない。							

2. 学校施設の目指すべき姿

学校施設は、次代を担う児童生徒が学習活動のために、多くの時間を過ごす教育施設であることから、安心安全（災害・防犯等）で快適な教育環境を確保するのはもちろん、変化する学習活動への適応性にも配慮することが求められる。また、学校施設は地域住民にとって生涯学習やスポーツの場として親しまれるとともに、災害発生時には避難所となる役割を担っており、防災面での機能も期待されている。

さらに、社会的な要請として、省エネ対応などの環境負荷の低減やユニバーサルデザインに留意した施設にしていくことも求められている。

今後は教室を活用した複合化・多機能化や将来的には改修等の時期に合わせて学校施設としての施設面積の削減を検討していく。

そのために、以下のとおり学校施設の目指すべき姿となる（1）から（4）の学校施設づくりを設定した。

（1）充実した学校教育を实践できる学校施設づくり

- ・学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす場所であることから、施設の安全・安心を確保するため、施設設備の老朽化対策や非構造部材の耐震対策など、計画的な施設の整備・充実を図る。
- ・近年の多様な学習内容や学習形態、家庭などの生活様式に対応した整備を行うことにより、学校施設環境の質的向上を図るとともに、2017年（H29）3月に改訂された小・中学校の学習指導要領に基づく教育の取組や今後の学校教育進展、情報化の進展に長期にわたり対応できるような柔軟性のある施設計画を検討する。
- ・学校の活性化を図り、教育効果を高めるために、よりよい教育環境の構築に向け、学校の規模や配置適正化を地域とともに検討していく。

（2）地域拠点としての学校施設づくり

- ・地域コミュニティの拠点や避難場所として、周辺コミュニティ施設や福祉施設、防災備蓄倉庫などの複合化、災害時における施設の防災機能の強化を検討する。
- ・特に体育館は、教育施設としての役割を始め、災害発生時に地域住民の避難場所となる重要な施設であることから、避難所となった場合を想定した施設整備及び地域の防災機能強化の視点に立った施設整備に取り組む。

（3）人・環境にやさしい学校施設づくり

- ・児童生徒だけではなく、誰もが利用しやすい学校施設であるため、バリアフリーに配慮した施設整備を推進する。
- ・環境負荷の低減を図るため、取手市環境基本計画に基づき、省エネルギー化が図れる設備機器や再生可能エネルギーの導入を検討する。

（4）長期間にわたって持続可能な学校施設づくり

- ・学校施設が長期間にわたって良好な状態を維持できるよう、事後保全型の管理から予防保全型の

管理へ転換し、計画的な改修に取り組む。

- ・構造躯体を堅固なものに維持するとともに、内壁の位置の変更や設備の改修が容易であるように配慮する。また、耐久性のある材料を使用することにより建物を長持ちさせるように計画する。参考として、報告書「学校施設整備基本構想の在り方について」（平成25年3月）からの抜粋を以下に示す。

図表 2-1 学校施設を目指すべき姿の例

1. 安全性	3. 学習活動への適応性（続き）
<p>○災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震に強い学校施設 ・津波・洪水に強い学校施設 ・防災機能を備えた学校施設 <p>○防犯・事故対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な学校施設 	<p>○理数教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した観察・実験を行うための環境 <p>○運動環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した運動ができる環境 <p>○伝統や文化に関する教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統や文化に関する教育を行うための環境 <p>○外国語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動等におけるジェスチャーゲームなどの体を動かす活動や、ペアやグループでの活動など、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間 <p>○学校図書館の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間 ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境 ・地域に開かれた学校とするための環境 ・地域の生涯学習の拠点となる学校施設 <p>○キャリア教育・進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実したキャリア教育・進路指導を行うための環境 <p>○食育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育のための空間 <p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーに配慮した環境 ・自閉症、情緒障害又はADHD等のある児童生徒に配慮した学校施設 <p>○環境教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題への関心を高めるためのエコスクール
2. 快適性	
<p>○快適な学習環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習能率の向上に資する快適な学習環境 ・児童生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校 ・バリアフリーに配慮した環境 ・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間 <p>○教職員に配慮した環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に配慮した空間 ・教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要な ICT 環境 	
3. 学習活動への適応性	
<p>○主体性を養う空間の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・子どもたちの教科等に対する興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間 ・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間 ・社会性を身に付けるための空間 <p>○効果的・効率的な施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別指導や少人数指導などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間 ・調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間 ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境 ・各教科等の授業を充実させるための環境 <p>○言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科等における発表・討論などの教育活動を行うための空間 ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境 	
	4. 環境への適応性
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を考慮した学校施設（エコスクール）
	5. 地域の拠点化
	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な学校施設 ・バリアフリーに配慮した環境 ・地域に開かれた学校とするための環境 ・地域の生涯学習の拠点となる学校施設

3. 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用実況等の実態

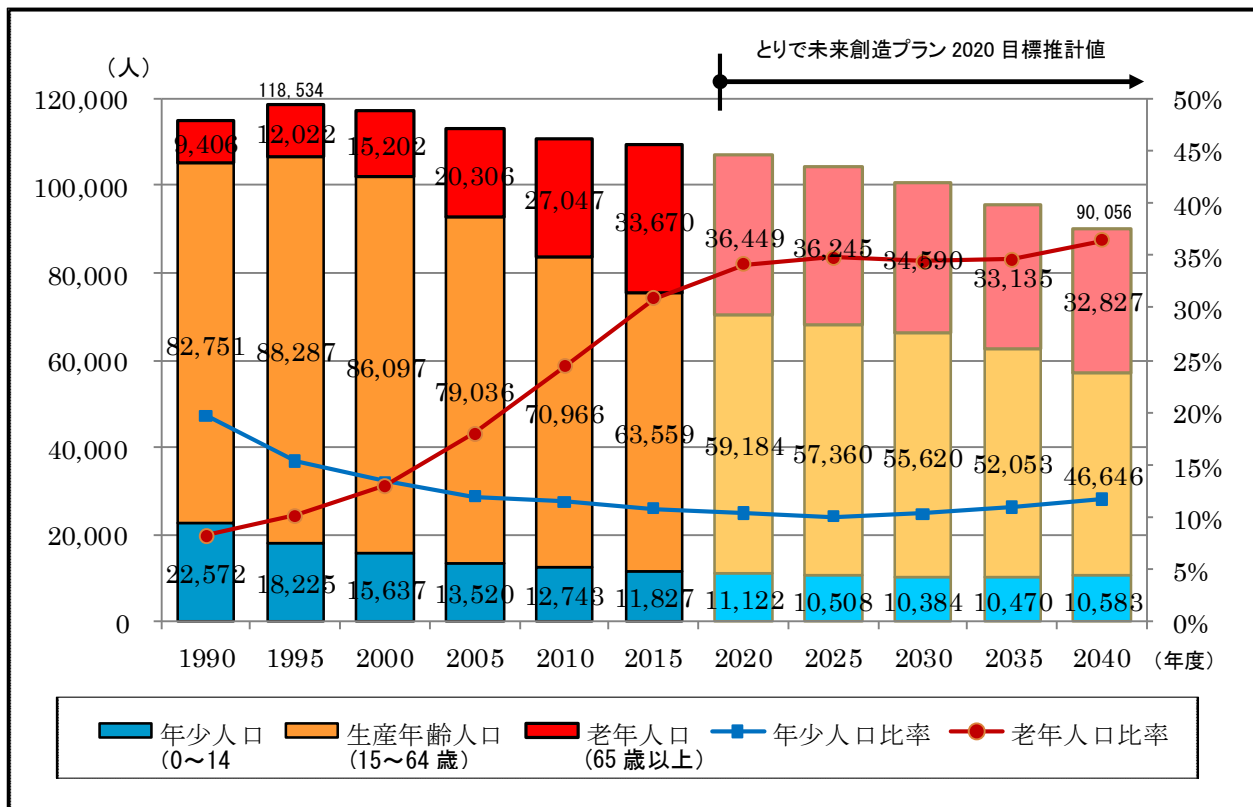
(1) 取手市の将来人口の推計

<市内総人口>

将来人口の推計結果、市内総人口は減少を続け 2030 年頃から減少幅が更に大きくなる。また、生産年齢人口は、2020 年代にはいったん減少ペースは落ち着くが、2030 年代に入ると再度減少幅が大きくなることが見込まれる。

一方で 2030 年まで 75 歳以上の後期高齢者人口が急増し、2040 年度(R22)には、市内人口の 40%程度が 65 歳以上の老年人口となるとともに、生産年齢人口 (46,646 人) と老年人口 (32,827 人) が接近し、老年者 1 人を生産年齢者 1.4 人で支えることになることが予想される。

図表 3-1 総人口及び年齢 3 区分別人口の推移と将来推計



年度	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2040 (R22)
総人口(人)	106,755	104,113	100,594	95,658	90,056

出典：第六次取手市総合計画 基本計画「とりで未来創造プラン 2020」（令和 2 年 4 月）

<人口減少推移による影響>

各年齢層の人口推移による10年後の影響として主なものを挙げると、未就学児世代では1,000人以上の減少が予想される。出生率の減少は、将来の生産年齢人口の減少につながると想定される。

小学生、中学生、高校生世代では、人口の若干の減少が想定される。

また、30代人口は大きく減少し、出産・子育て世代が大幅に減少することで、出生数も大幅に減少することが想定されるほか、高齢者世代では前期高齢者世代が減少するのに対し、後期高齢者が現在の1.7倍に増加すると想定される。後期高齢者に対する一人当たりの医療費は高額であると言われていていることから、扶助費の急増などの影響が懸念される。

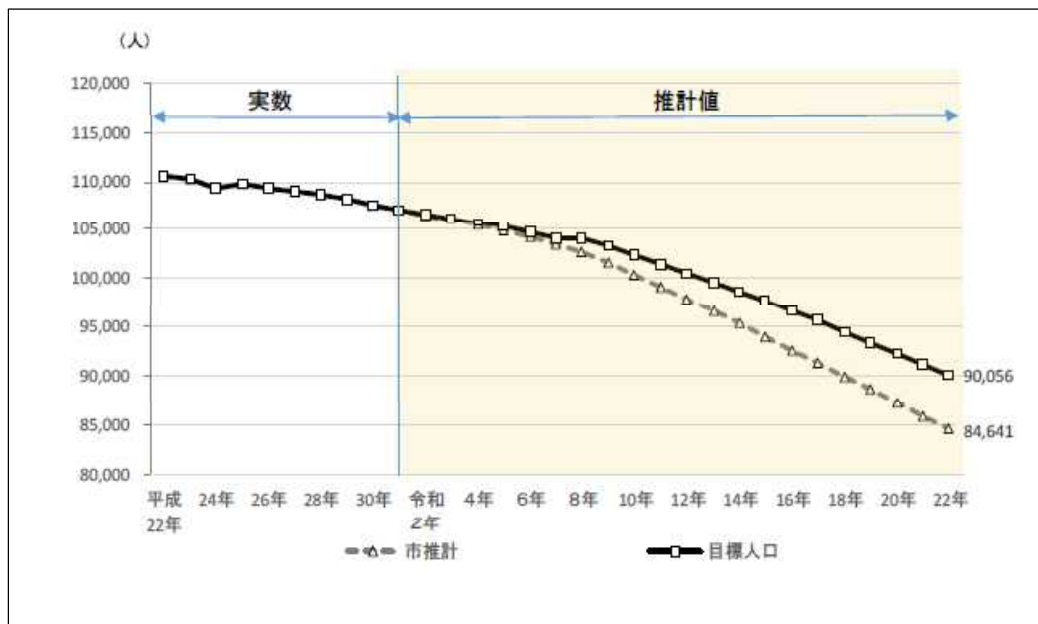
<取手市の目標人口の設定>

第六次取手市総合計画の基本計画「とりで未来創造プラン2020」（令和2年4月）においては、目標人口の設定について以下のように掲示している。

将来人口を推計すると、2040年(R22)には84,641人となる。

将来人口の目標としては、合計特殊出生率の向上、子育て・若者世代の転入促進・転出抑制などに取り組むことにより、「2040年(R22)に人口約9万人を維持する」こととしている。

図表 3-2 将来人口のシミュレーション結果



出典：第六次取手市総合計画 基本計画「とりで未来創造プラン2020」（令和2年4月）

(2) 現在の児童数・生徒数・園児数及び学級数

市立学校の2019年度(R1)児童生徒数(5月1日現在)は、合計6,861人、学級数は305学級で、そのうち、小学校の児童数は4,571人、学級数は216学級、中学校の生徒数は2,290人、学級数は89学級となっている。また、幼稚園の園児数は29人、学級数は2学級となっている。

小学校においては、1学年当たり1~2学級の小学校が多いが、土地区画整理事業エリアが学区内にある高井小学校はその影響を受け、低学年を中心に学級数が多くなっている。

中学校においては、1学年3~4学級が中心となっているが、取手第二中学校では2年生、3年生が6学級となっている。

図表 3-3 児童数・生徒数・園児数及び学級数一覧

2019年(R1)5月1日現在

		1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1	取手小学校	60	2	60	2	63	2	65	2	76	2	63	2	17	3
2	白山小学校	64	2	52	2	62	2	61	2	58	2	58	2	24	5
3	取手東小学校	68	2	66	2	84	3	83	3	72	3	64	2	40	8
4	寺原小学校	47	2	57	2	50	2	67	2	74	3	69	2	30	5
5	永山小学校	51	2	53	2	53	2	74	2	56	2	71	2	19	3
6	取手西小学校	35	1	41	2	51	2	42	2	47	2	42	2	15	3
7	戸頭小学校	63	2	74	3	84	3	73	2	87	3	83	3	23	5
8	高井小学校	93	3	53	2	41	2	50	2	33	1	27	1	18	3
9	山王小学校	4	1	12	1	8	1	10	1	10	1	8	1	5	1
10	六郷小学校	16	1	11	1	15	1	10	1	25	1	22	1	2	1
11	藤代小学校	55	2	64	2	50	2	61	2	36	2	52	2	44	8
12	官和田小学校	56	2	42	2	61	2	62	2	47	2	53	2	29	4
13	久賀小学校	48	2	36	2	44	2	50	2	40	1	51	2	15	3
14	桜が丘小学校	47	2	45	2	41	2	39	1	49	2	59	2	20	3
		1年		2年		3年		特別支援							
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数						
1	取手第一中学校	132	4	154	5	142	4	17	3	1	藤代幼稚園				
2	取手第二中学校	175	5	180	6	190	6	24	5		4歳児				
3	永山中学校	115	4	95	3	87	3	6	2		17	1			
4	戸頭中学校	72	2	82	3	77	3	7	2		5歳児				
5	藤代中学校	110	4	103	3	108	4	13	3		12	1			
6	藤代南中学校	121	4	139	4	119	4	22	3						

(3) 児童生徒数及び学級数の変化

児童生徒数は、1983年度（S58）1万9,676人をピークに、2019年度（R1）時点では6,861人で、ピーク時の35%となっている。小学校は1982年度（S57）の1万3,768人をピークに、2019年度（R1）では4,571人でピーク時の33%、中学校は1987年度（S62）の6,895人をピークに、2019年度（R1）では2,290人でピーク時の33%となっている。

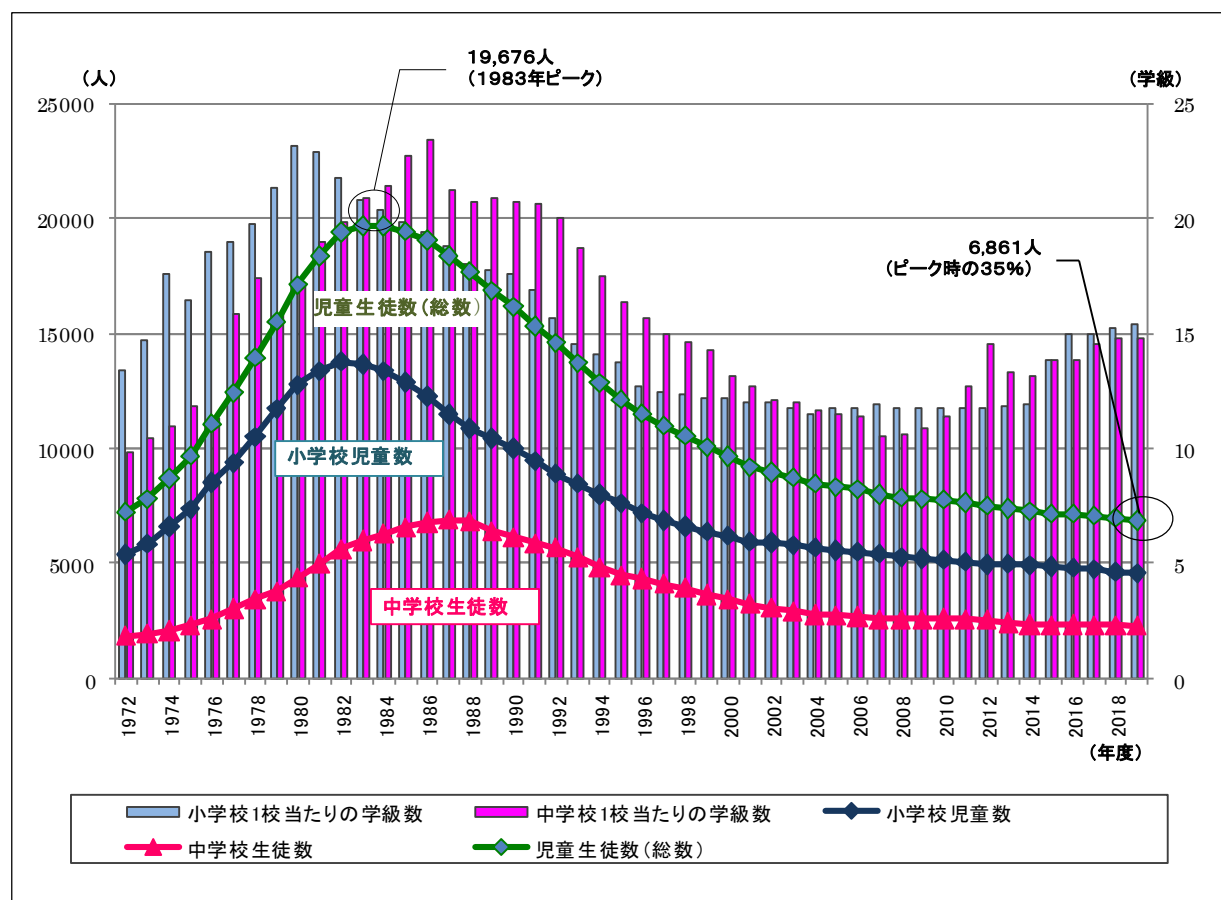
特別支援学級を除いた1校当たりの学級数では、小学校は児童数がピークの1982年度（S57）で22学級・1学年当たり平均4学級、中学校は生徒数がピークの1987年度（S62）で21学級・1学年当たり平均7学級であった。その後統廃合が進み、2019年度（R1）では小学校1校当たり11学級・1学年当たり平均2学級、中学校1校当たり12学級・1学年当たり平均4学級となっており、小学校は1校当たり11学級、中学校は1校当たり9学級減少している。

小学校の児童数は1982年度（S57）をピークに減少が続き、現在も減少し続けている。

高井小学校については、ゆめみ野地区区画整理事業によって増加傾向にあり、今後も令和6年までは増加が続く見込みである。また、白山小学校については取手駅西口の再開発事業により、将来児童の増加が見込まれる。

中学校については、ゆめみ野地区で増加した児童が永山中学校に入学するため、将来の増加が見込まれる。

図表 3-4 児童生徒数の推移

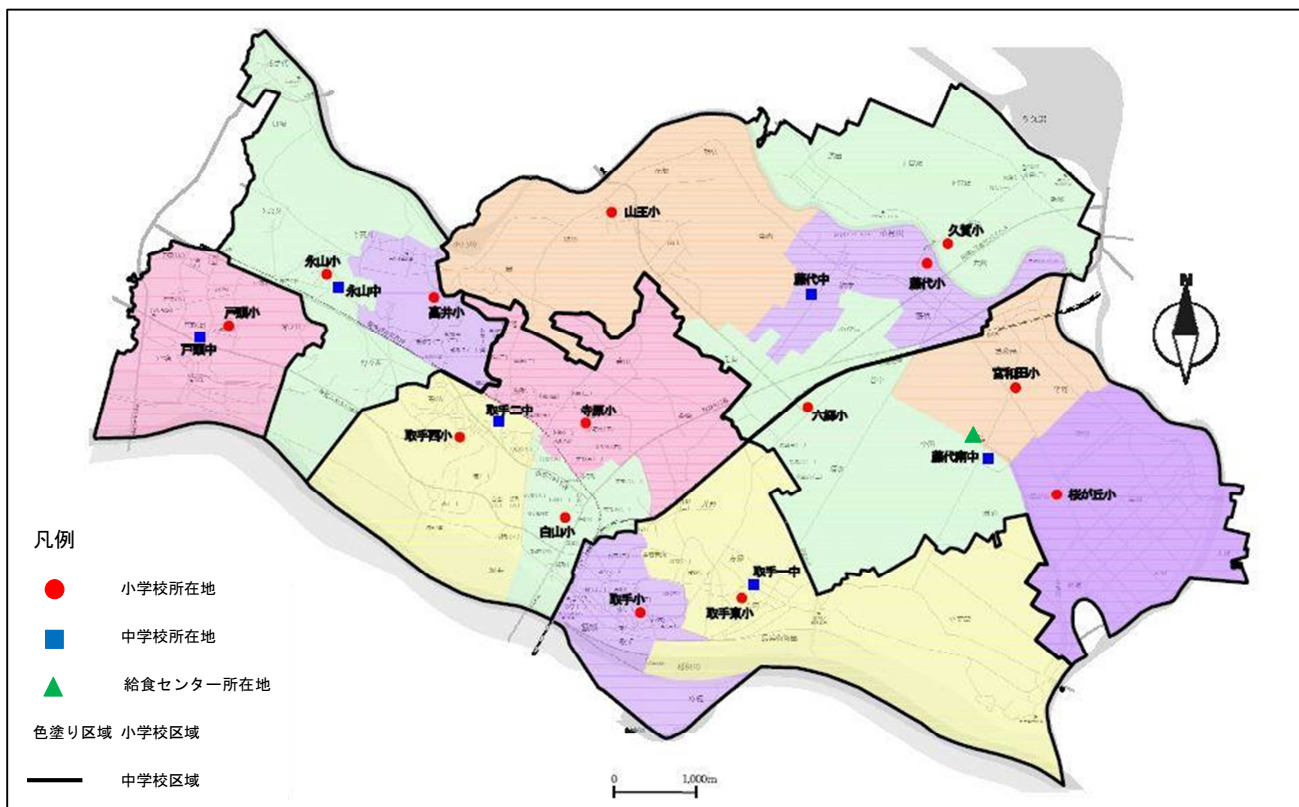


(4) 学校施設の配置状況

本計画の対象となる小学校 14 施設、中学校 6 施設、学校給食センター1 施設、放課後子どもクラブ（単独棟）4 施設の市内の配置状況は以下のとおり。なお、放課後子どもクラブ（単独棟）は、各小学校敷地内に設置されている。

図表 3-5 学校施設の配置状況

2016 年 (H28) 4 月 1 日現在



(5) 学校施設の保有量

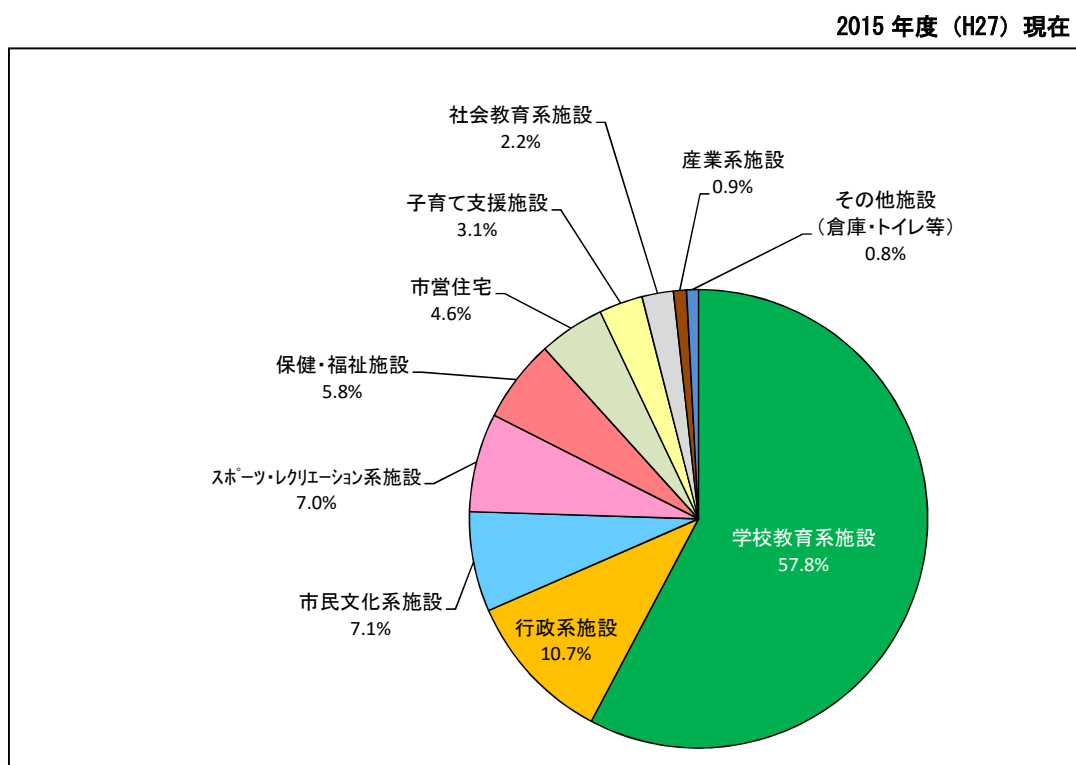
①学校施設の現状

本市が保有する施設の保有量は約 24.7 万㎡（東京ドーム 5.3 個分に相当する広さ）となっており、施設類型別の延べ床面積の内訳としては、学校施設が最も多く、全体の 57.8%を占めている。

また、学校施設については昭和 40 年代後半から 50 年代にかけての児童生徒急増期に、集中して建築されたものが多く、築 30 年以上の建物が学校施設全体の約 80%を占めている。

これらの施設は、従来の事後保全型の維持管理を継続し、築 60 年で建替える場合、2033 年度（R15）以降、一斉に建替えを迎えることになる。

図表 3-6 施設類型別の延床面積の内訳



出典：取手市公共施設等総合管理計画

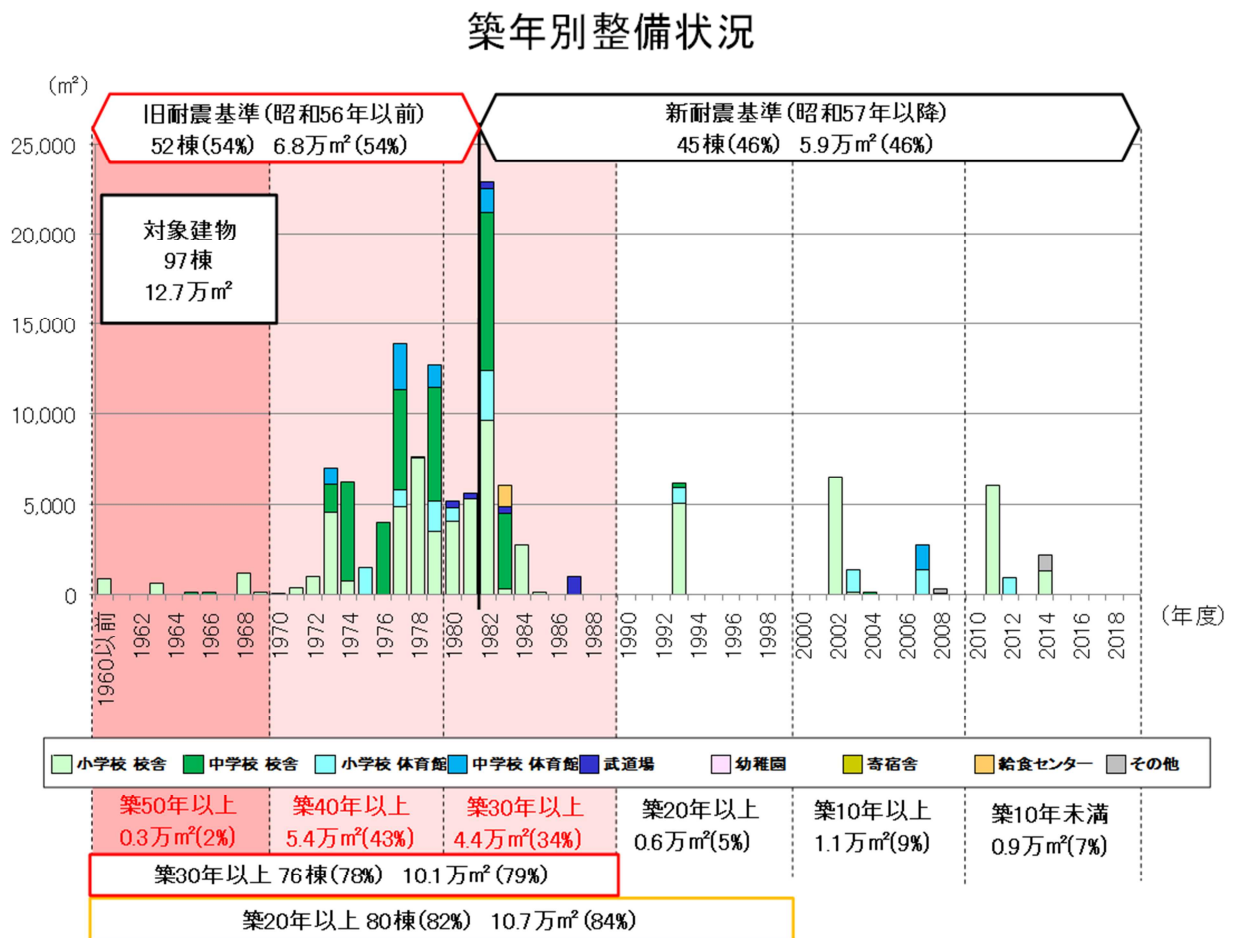
②築年別整備状況

小学校・中学校の校舎は1973年（S48）から1984年（S59）の間に多く整備され、これらの建築物は建築後35年から47年が経過し、老朽化が特に進んでいる。なお、旧耐震基準で整備された施設は2017年度（H29）にすべての施設の耐震補強工事が完了している。

築30年以上の建物が約80%を占めているため、2006年度（H18）から大規模改修工事を実施し、経年による機能・性能劣化の機能回復を図っているが、実施が早かった施設は、既に改修後約14年が経過し、再度、機能回復が必要になってくる。

図表 3-7 築年別整備状況

2019年度（R1）現在

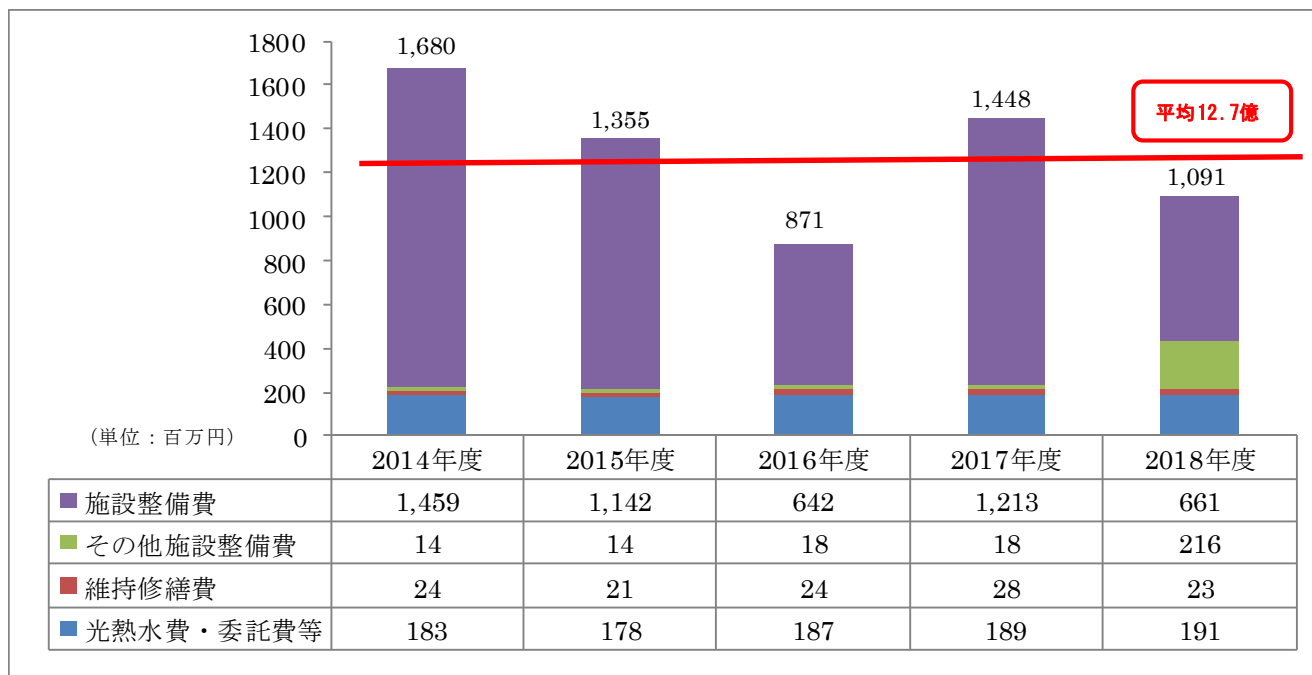


(6) 施設関連経費の推移

2014年度（H26）から2018年度（H30）の5年間の学校施設の施設関連経費は、年平均12.7億円である。

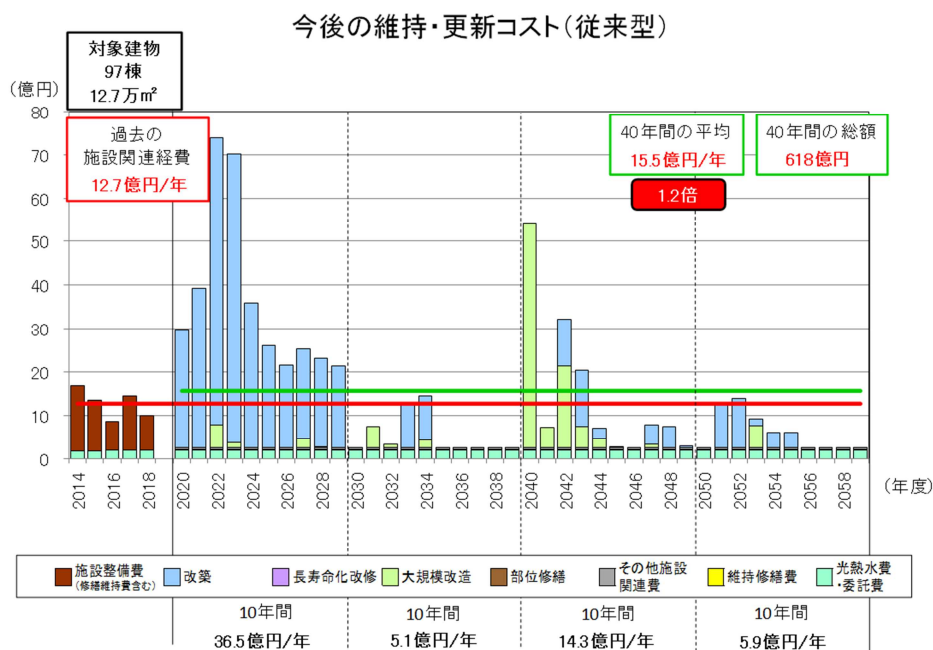
施設関連整備の半分は大規模改修事業が占めており、財政状況等の理由により年度によって実施数にばらつきがある。

図表 3-8 施設関連経費の推移（グラフ）



(7) 今後の維持・更新コスト（従来型）

図表 3-9 今後の維持・更新コスト（従来型）



従来型での維持管理では、40年間(2020年～2060年)の平均で15.5億円/年という試算結果となった。2020年からの10年で必要な経費は、36.5億円/年となり、ピークとなる2022年では、70億円を超える経費が必要となる。過去の施設関連経費が12.7億円/年であるため、計画通りに維持管理をしていく場合、3倍以上の金額となる。現状の財政状況から学校建設費の大幅な増加は見込めず、現状のまま施設を維持していくことが困難であることが改めて示された。

3-2 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

建築物は構造躯体の健全性が確保されることで、長い期間使用することができるが、建設当時の施工状況やその後の使用状況、立地環境によって使用できる年数が異なる。そのため、老朽化状況は「構造躯体の健全性」と「構造躯体以外の劣化状況等」の2つに分けて実態調査を行い、現状と課題を整理する。

① 構造躯体の健全性

● コア抜き（中性化・強度）調査等

耐震診断を実施した学校施設は、診断時に中性化、圧縮強度試験を実施している。多くの施設で、期待できる使用年数は80年以上と判断されている*。なお本計画の策定に当たっては、再度、構造躯体の健全性調査は行わず、今後、長寿命化の実施を判断する時期に実施するものとする。

※)「取手市総合的視点に基づく公共施設保全計画策定調査報告書」(2014年3月)による。

なお、詳細は図表3-11を参照

② 構造躯体以外の劣化状況等

● 屋上・外壁・内外装・設備等の現地調査

学校施設の構造躯体以外の劣化状況等については、本計画の策定に当たり、全対象施設の調査を行った。調査項目は、地域の実情を鑑み、文部科学省が作成した「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」(2015年4月)に掲載している劣化状況調査票を用いて、以下の項目で調査を実施した。

図表 3-10 構造躯体以外の劣化状況の調査項目

通し番号			
学校名		学校番号	調査日
建物名			
棟番号		建築年度	年度(年度)
構造種別	延床面積	m ²	階数 地上 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の変更)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 空木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフィングを目視点検できな			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗装上げ			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
				<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井 (内部障具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度 0 / 100点
--	-----------------

図表 3-11 耐震診断結果に基づく期待できる使用年数の算定表

No.	施設名(建物名)	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度	耐震診断	耐震補強※	診断年度	経過年数	耐震診断		補正圧縮強度(N/mm ²)		中性化深さの平均値(mm)		理論式による深さ(mm)	期待出来る使用年数
										IS値(最低)	診断結果	サンプル数	平均値	サンプル数	平均値		
1	久賀小学校(教室棟1-1・2)	RC	3	2,433	1973	済	不要	1996	23	0.7	OK	9	20.9	—	—	17.85	80以上
	久賀小学校(教室棟2-1・2・4)	RC	3	2,117	1973	済	済	2006	33	0.62	NG	9	26.8	25	7.1	21.38	80以上
	久賀小学校(教室棟2-3・5)	RC	3	1,024	1976	済	済	2006	30	0.65	NG	9	25.5	27	18.9	20.38	60-80
	久賀小学校(体育館)	S	1	807	1975	済	済	2006	31	0.175	NG	—	—	—	—	20.72	80以上
2	山王小学校(教室棟8)	S	2	812	1972	済	済	2008	36	0.15	NG	—	—	—	—	22.33	80以上
	山王小学校(体育館)	S	1	687	1979	済	済	2008	29	0.5	NG	—	—	—	—	20.04	80以上
3	寺原小学校(教室棟13)	RC	3	1,373	1977	済	済	2004	27	0.46	NG	9	31.5	30	10.8	19.34	80以上
	寺原小学校(教室棟15)	RC	3	1,236	1980	済	済	2004	24	0.61	NG	9	33.4	30	5.6	18.23	80以上
	寺原小学校(教室棟16)	RC	3	1,121	1980	済	済	2004	24	0.41	NG	9	36.1	30	4.3	18.23	80以上
	寺原小学校(教室棟3-1)	RC	1	243	1965	済	解体	2007	42	0.23	NG	3	44.9	5	3	24.12	80以上
	寺原小学校(教室棟9)	RC	2	326	1971	済	済	2004	33	0.61	NG	6	36.6	20	17.3	21.38	80以上
	寺原小学校(体育館)	S	1	674	1974	済	済	2007	33	0.48	NG	—	—	—	—	21.38	80以上
4	戸頭東小学校(教室棟1-1・2)	RC	4	2,555	1978	済	済	2008	30	0.31	NG	12	21.5	35	17.2	20.38	80以上
	戸頭東小学校(教室棟1-3)	RC	4	1,658	1980	済	済	2008	28	0.39	NG	12	32.3	30	9.1	19.69	80以上
	戸頭東小学校(体育館)	RC	2	947	1979	済	済	2008	29	0.41	NG	3	43.1	11	2.6	20.04	80以上
5	白山小学校(教室棟16)	RC	2	1,183	1979	済	済	2004	25	0.59	NG	6	32.4	20	11.6	18.61	80以上
	白山小学校(教室棟8-1・2・3)	RC	2	1,142	1968	済	済	2004	36	0.45	NG	18	29.9	60	9.2	22.33	80以上
	白山小学校(教室棟3)	RC	2	856	1958	済	不要	2004	46	0.91	OK	12	20.8	40	3.5	25.24	80以上
	白山小学校(教室棟7)	RC	2	596	1963	済	済	2004	41	0.64	NG	6	26.6	20	2.6	23.83	80以上
	白山小学校(教室棟13)	RC	2	593	1978	済	済	2004	26	0.69	NG	6	35.5	20	8.5	18.98	80以上
	白山小学校(体育館)	S	2	664	1975	済	済	2004	29	0.26	NG	—	—	—	—	20.04	80以上
6	藤代小学校(教室棟5)	RC	4	3,941	1978	済	済	2003	25	0.40	NG	12	29.4	40	0.25	18.61	80以上
7	宮和田小学校(教室棟1)	RC	3	2,718	1981	済	不要	2007	26	0.74	OK	9	36.0	24	4.9	18.98	80以上
8	吉田小学校(教室棟1-1・2・3)	RC	4	3,465	1977	済	済	2007	30	0.37	NG	24	29.7	70	8.5	20.38	80以上
	吉田小学校(体育館)	RC	2	924	1977	済	不要	2007	30	1.12	OK	6	31.8	17	3.5	20.38	80以上
9	六郷小学校(教室棟12)	RC	3	2,339	1979	済	済	2007	28	0.6	NG	9	31.7	30	11.2	19.69	80以上
	六郷小学校(体育館)	S	1	739	1980	済	済	2003	23	0.61	NG	—	—	—	—	17.85	80以上
10	戸頭中学校(教室棟1-1・2・3)	RC	4	2,027	1976	済	済	2006	30	0.47	NG	12	24.85	40	2.44	20.38	80以上
	戸頭中学校(教室棟1-4)	RC	4	1,922	1976	済	済	2006	30	0.55	NG	12	28.55	40	3.3	20.38	80以上
	戸頭中学校(体育館)	S	2	1,103	1977	済	済	2006	29	0.07	NG	3	25	10	7.8	20.04	80以上
	戸頭中学校(柔剣道場)	S	1	349	1980	済	不要	2012	32	0.83	OK	—	—	—	—	21.05	80以上
11	取手第二中学校(教室棟18-1・2・4)	RC	4	5,498	1974	済	済	2005	31	0.44	NG	36	30.65	48	7.6	20.72	80以上
	取手第二中学校(教室棟18-3)	RC	4	948	1978	済	済	2005	27	0.32	NG	12	31.91	18	9.63	19.34	80以上
	取手第一中学校(管理・特別教室棟3)	RC	4	2,098	1979	済	済	2007	28	0.68	NG	12	39.6	34	3.85	19.69	80以上
12	取手第一中学校(給食棟1)	RC	4	206	1979	済	済	2007	28	2.09	NG	3	49.2	10	0.86	19.69	80以上
	取手第一中学校(特別教室棟2)	RC	1	305	1979	済	不要	2007	28	1.99	OK	3	41.8	9	2.97	19.69	80以上
	取手第一中学校(体育館)	RC	2	1,255	1979	済	済	2007	28	0.48	NG	6	29.5	18	6.21	19.69	80以上
	取手第一中学校(柔剣道場)	S	1	353	1981	済	済	2007	26	0.63	NG	—	—	—	—	18.98	80以上
	取手第一中学校(給食棟2)	RC	4	206	1979	済	済	2007	28	2.09	NG	3	49.2	10	0.86	19.69	80以上
13	永山中学校(教室棟16-1・2)	RC	3	1,535	1973	済	済	2005	32	0.5	NG	9	26.4	17	5.3	21.05	80以上
	永山中学校(体育館)	S	1	938	1973	済	済	2005	32	0.17	NG	6	25.9	18	7	21.05	80以上
14	藤代中学校(教室棟1-1)	RC	4	2,295	1977	済	済	2003	26	0.48	NG	12	21.05	40	5.05	18.98	80以上
	藤代中学校(教室棟1-2・3・5)	RC	4	2,987	1977	済	済	2003	26	0.39	NG	12	24.75	40	2.975	18.98	80以上
	藤代中学校(技術棟4)	S	1	297	1977	済	不要	2006	29	0.73	OK	3	20.4	15	5.27	20.04	80以上
	藤代中学校(体育館2)	RC	2	1,406	1977	済	済	2006	29	0.57	NG	6	28.35	20	8.735	20.04	80以上

・この表は、旧耐震基準の建物で耐震診断を実施した建物。

・構造欄の略号は次による。RC:鉄筋コンクリート造、S:鉄骨造、SRC:鉄骨鉄筋コンクリート造、CB:コンクリートブロック造、W:木造、他:その他

・経過年数は診断日(調査日)時点のもの

・耐震診断結果欄は次による。NG:要補強:耐震補強が必要な建物、OK:耐震補強済みまたは診断結果で補強不要の建物

・期待出来る使用年数:耐震診断時に行ったコンクリート中性化調査における中性化深さの値と、築年数を元に中性化理論式で求めた値とを比較することにより、今後期待できる使用年数を算定した。

※2017年度(H 29)に耐震補強対象建物については、全て改修を終えている。

出典:取手市総合的視点に基づく公共施設保全計画策定調査報告書

(2) 構造躯体以外の劣化状況等


構造躯体以外の劣化状況等の把握には、現状の不具合や各学校施設使用者の要望を把握できるよう、目視による現地調査及びヒアリング調査を行う。また、過去の設計図書や建築基準法第12条に基づく定期点検等の既存の報告書も参考とすることで、評価・分析をより明確に行う。

①評価の方法

劣化状況調査票を用いて構造躯体以外の劣化状況を把握する。

屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。

図表 3-12 劣化度の評価基準

評価基準		経過年数による評価	
目視による評価【屋根・屋上、外壁】		【内部仕上げ、電気設備、機械設備】	
評価	基準	評価	基準
良好  劣化	A 概ね良好	A	20年未満
	B 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)	B	20~40年
	C 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)	C	40年以上
	D 早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

②健全度

各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標

図表 3-13 健全度の算定基準

①部位の評価点		②部位のコスト配分		③健全度
評価点	評価点	部位	コスト配分	総和(部位の評価点×部位のコスト配分) ÷ 60
A	100	1 屋根・屋上	5.1	※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。 ※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。
B	75	2 外壁	17.2	
C	40	3 内部仕上げ	22.4	
D	10	4 電気設備	8.0	
		5 機械設備	7.3	
		計	60	

出典：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(平成29年3月)

(3) 評価結果

全体的には健全度が高い施設が多かった。その要因としては、統合先の小学校を優先的に整備したことや、築年の古い建物は順次大規模改修を行っていることが考えられる。白山小学校は築年数が50年

から60年経過しており、年数の経過によって屋根・屋上の劣化が著しく、全体的に劣化が進行していた。

図表3-14 評価一覧表

2019年度 (R1) 現在

建物情報一覧表

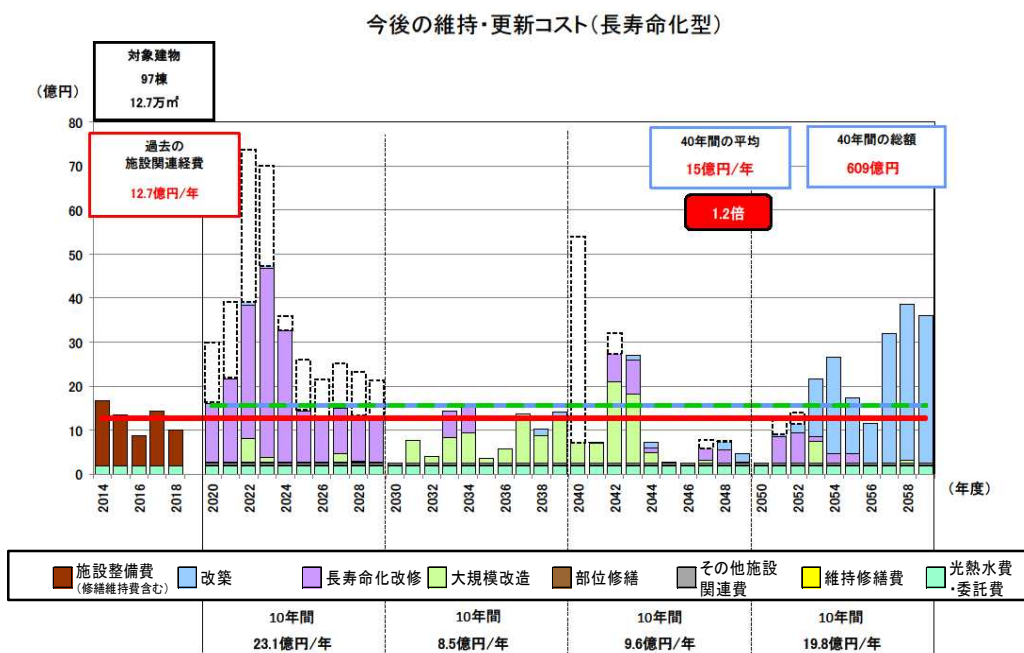
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		劣化状況評価					備考		
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備		機械設備	健全度(100点満点)
1	421	取手小学校	取手小学校(教室棟17-1-2-3)	4001		小学校	校舎	RC	4	4,466	2002	H14	17	新	-	-		長寿命	B	C	A	A	A	81		
2	421	取手小学校	取手小学校(教室棟18)	4002		小学校	校舎	RC	2	793	2002	H14	17	新	-	-		長寿命	B	C	A	A	A	81		
3	421	取手小学校	取手小学校(教室棟19-1-2)	4003		小学校	校舎	RC	3	1,268	2002	H14	17	新	-	-		長寿命	B	C	A	A	A	81		
4	421	取手小学校	取手小学校(体育館)	4004		小学校	体育館	RC	2	1,241	2003	H15	16	新	-	-		長寿命	B	A	A	A	A	98		
5	422	白山小学校	白山小学校(教室棟3)	4006		小学校	校舎	RC	2	856	1958	S33	61	旧	済	-	2004	20.8	長寿命	D	C	C	C	C	37	
6	422	白山小学校	白山小学校(教室棟7)	4007		小学校	校舎	RC	2	598	1963	S38	56	旧	済	済	2004	26.6	長寿命	D	C	C	C	C	37	
7	422	白山小学校	白山小学校(教室棟8-1-2-3)	4008		小学校	校舎	RC	2	1,142	1968	S43	51	旧	済	済	2004	29.9	長寿命	D	C	C	C	C	37	
8	422	白山小学校	白山小学校(給食棟11)	4009		小学校	その他	RC	1	136	1972	S47	47	旧	-	-		長寿命	D	C	C	C	C	37		
9	422	白山小学校	白山小学校(教室棟16)	4010		小学校	校舎	RC	2	1,183	1979	S54	40	旧	済	済	2004	32.4	長寿命	D	C	C	C	C	37	
10	422	白山小学校	白山小学校(付属棟19.20.21)	4012		小学校	校舎	S	1	54	1980	S55	39	旧	-	-		要調査	D	C	C	C	C	40		
11	422	白山小学校	白山小学校(体育館)	4013		小学校	体育館	S	2	664	1975	S50	44	旧	済	済		長寿命	C	C	C	C	C	40		
12	422	白山小学校	白山小学校(教室棟13)	4167		小学校	校舎	RC	2	593	1978	S53	41	旧	済	済	2004	35.5	長寿命	C	C	C	C	C	40	
13	424	寺原小学校	寺原小学校(教室棟9)	4014		小学校	校舎	RC	2	326	1971	S46	48	旧	済	済	2004	36.6	長寿命	A	A	A	B	A	97	
14	424	寺原小学校	寺原小学校(管理教室棟13)	4015		小学校	校舎	RC	3	1,373	1977	S52	42	旧	済	済	2004	31.5	長寿命	A	A	A	B	A	97	
15	424	寺原小学校	寺原小学校(教室棟15)	4016		小学校	校舎	RC	3	1,236	1980	S55	39	旧	済	済	2004	33.4	長寿命	A	A	A	B	A	97	
16	424	寺原小学校	寺原小学校(教室棟16)	4017		小学校	校舎	RC	3	1,121	1980	S55	39	旧	済	済	2004	36.1	長寿命	A	A	A	B	A	97	
17	424	寺原小学校	寺原小学校(教室棟20)	4018		小学校	校舎	RC	3	61	2008	H20	11	新	-	-		長寿命	B	B	A	A	A	100		
18	424	寺原小学校	寺原小学校(付属棟6.19)	4019		小学校	校舎	S	1	37	1969	S44	50	旧	-	-		要調査	C	C	C	C	C	40		
19	424	寺原小学校	寺原小学校(体育館)	4020		小学校	体育館	S	1	674	1974	S49	45	旧	済	済		長寿命	A	A	A	B	A	97		
20	429	取手東小学校	取手東小学校(教室棟1-1-2-3)	4021		小学校	校舎	RC	4	3,465	1977	S52	42	旧	済	済	2007	29.7	長寿命	A	B	B	A	A	84	
21	429	取手東小学校	取手東小学校(教室棟11-12)	4022		小学校	校舎	RC	2	1,305	2014	H26	5	新	-	-		長寿命	A	A	A	A	A	100		
22	429	取手東小学校	取手東小学校(体育館)	4023		小学校	体育館	RC	2	924	1977	S52	42	旧	済	-	2007	31.8	長寿命	B	C	C	C	C	43	
23	429	取手東小学校	取手東小学校(機械室)	4024		小学校	校舎	S	1	53	1977	S52	42	旧	-	-		要調査	C	C	C	C	C	40		
24	423	永山小学校	永山小学校(教室棟15)	4028		小学校	校舎	RC	3	5,647	2011	H23	8	新	-	-		長寿命	B	A	A	A	A	98		
25	423	永山小学校	永山小学校(地域学校連携施設)	4029		小学校	校舎	RC	2	373	2011	H23	8	新	-	-		長寿命	B	A	A	A	A	98		
26	423	永山小学校	永山小学校(付属棟6.14)	4030		小学校	校舎	S	1	62	1970	S45	49	旧	-	-		要調査	C	C	C	C	C	40		
27	423	永山小学校	永山小学校(体育館)	4031		小学校	体育館	S	1	925	2012	H24	7	新	-	-		長寿命	B	A	A	A	A	98		
28	430	戸頭小学校	戸頭小学校(教室棟1-1-1-2)	4039		小学校	校舎	RC	4	2,555	1978	S53	41	旧	済	済	2008	21.5	長寿命	B	A	B	B	A	85	
29	430	戸頭小学校	戸頭小学校(教室棟6-1)	4040		小学校	校舎	RC	4	979	1984	S59	35	新	-	-		長寿命	B	A	B	B	A	85		
30	430	戸頭小学校	戸頭小学校(教室棟1-3.6-2)	4168		小学校	校舎	RC	4	1,658	1980	S55	39	旧	済	済	2008	32.3	長寿命	B	A	B	B	A	85	
31	430	戸頭小学校	戸頭小学校(プール付属棟)	4041		小学校	校舎	RC	1	104	2003	H15	16	新	-	-		要調査	B	B	A	A	A	91		
32	430	戸頭小学校	戸頭小学校(体育館)	4044		小学校	体育館	RC	2	947	1978	S54	40	旧	済	済	2008	43.1	長寿命	A	A	A	B	A	97	
33	432	取手西小学校、げんきサロン福、取手西小放課後子どもクラブ室	取手西小学校(教室棟1-1-1-2)	4045		小学校	校舎	RC	4	5,208	1982	S57	37	新	-	-		長寿命	A	A	A	B	A	97		
34	432	取手西小学校	取手西小学校(プール付属棟5)	4048		小学校	校舎	S	1	60	1982	S57	37	新	-	-		要調査	C	D	C	C	C	31		
35	432	取手西小学校	取手西小学校(機械室4)	4049		小学校	校舎	S	1	7	1982	S57	37	新	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40		
36	432	取手西小学校	取手西小学校(体育館2)	4051		小学校	体育館	RC	2	952	1982	S57	37	新	-	-		長寿命	A	A	A	B	A	97		
37	431	高井小学校、高井小放課後子どもクラブ室	高井小学校(教室棟1-1-2)	4052		小学校	校舎	RC	3	4,214	1982	S57	37	新	-	-		長寿命	A	A	A	A	A	100		
38	431	高井小学校	高井小学校(プール付属棟4)	4054		小学校	校舎	S	1	60	1982	S57	37	新	-	-		要調査	C	C	C	C	C	40		
39	431	高井小学校	高井小学校(体育館)	4055		小学校	体育館	RC	2	904	1982	S57	37	新	-	-		長寿命	A	A	A	B	A	97		
40	1742	山王小学校	山王小学校(教室棟12)	4056		小学校	校舎	RC	3	1,772	1984	S59	35	新	-	-		長寿命	A	A	A	B	A	97		
41	1742	山王小学校	山王小学校(教室棟8)	4057		小学校	校舎	S	2	806	1972	S47	47	旧	済	済		長寿命	A	A	A	B	A	97		
42	1742	山王小学校	山王小学校(体育館10)	4058		小学校	体育館	S	1	687	1978	S54	40	旧	済	済		長寿命	A	A	A	B	A	97		
43	1742	山王小学校	山王小学校(プール付属棟)	4060		小学校	校舎	W	1	25	1969	S44	50	旧	-	-		要調査	C	C	C	C	C	40		
44	1742	山王小学校	山王小学校(プール機械室)	4061		小学校	校舎	W	1	16	1969	S44	50	旧	-	-		要調査	C	C	C	C	C	40		

45	1743	六郷小学校、六郷小放課後子どもクラブ室	六郷小学校(教室棟)	4062		小学校	校舎	RC	3	2,339	1979	S54	40	旧	済	済	2007	31.7	長寿命	A	A	A	B	A	97
46	1743	六郷小学校	六郷小学校(プール付属棟)	4064		小学校	校舎	S	1	88	1985	S60	34	新	-	-			要調査	C	C	C	C	C	40
47	1743	六郷小学校	六郷小学校(体育館)	4065		小学校	体育館	S	1	739	1980	S55	39	旧	済	済			長寿命	A	A	A	A	A	100
48	1741	藤代小学校、藤代幼稚園	藤代小学校(教室棟5)含む幼稚園	4066		小学校	校舎	RC	4	4,431	1978	S53	41	旧	済	済	2003	29.4	長寿命	D	D	C	C	A	36
49	1741	藤代小学校、藤代小放課後子どもクラブ室	藤代小学校(体育館)	4067		小学校	体育館	S	2	1,342	2007	H19	12	新	-	-			長寿命	B	B	A	A	A	91
50	1741	藤代小学校	藤代小学校(プール付属棟)	4069		小学校	校舎	S	1	10	1968	S43	51	旧	-	-			要調査	C	C	C	C	C	40
51	1746	宮和田小学校、宮和田小放課後子どもクラブ室	宮和田小学校(教室棟1.5-1-2-3)	4071		小学校	校舎	RC	3	5,285	1981	S56	38	旧	済	-	2007	36	長寿命	D	D	D	C	C	18
52	1746	宮和田小学校	宮和田小学校(体育館)	4072		小学校	体育館	S	1	926	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	43
53	1746	宮和田小学校	宮和田小学校(プール付属棟)	4073		小学校	校舎	RC	1	86	1982	S57	37	新	-	-			要調査	B	C	C	C	C	40
54	1745	久賀小学校	久賀小学校(教室棟1-1-2)	4075		小学校	校舎	RC	3	2,498	1973	S48	46	旧	済	-	1996	20.9	長寿命	A	A	A	A	A	100
55	1745	久賀小学校	久賀小学校(教室棟2-1-2-3-4)	4158		小学校	校舎	RC	3	2,052	1973	S48	46	旧	済	済	2006	25.5	長寿命	A	A	A	A	A	100
56	1745	久賀小学校	久賀小学校(体育館)	4076		小学校	体育館	S	1	807	1975	S50	44	旧	済	済			長寿命	A	A	A	A	A	100
57	1745	久賀小学校	久賀小学校(プール付属棟4.5)	4079		小学校	校舎	S	1	60	1974	S49	45	旧	-	-			要調査	C	C	C	C	C	40
58	1747	桜が丘小学校、桜が丘小放課後子どもクラブ室	桜が丘小学校(教室棟1.2)	4081		小学校	校舎	RC	3	4,976	1993	H5	26	新	-	-			長寿命	C	C	C	B	B	49
59	1747	桜が丘小学校	桜が丘小学校(体育館)	4082		小学校	体育館	S	1	862	1993	H5	26	新	-	-			長寿命	B	C	B	B	B	75
60	1747	桜が丘小学校	桜が丘小学校(プール付属棟)	4083		小学校	校舎	RC	1	83	1993	H5	26	新	-	-			要調査	C	C	B	B	B	62
61	3835	取手第一中学校	取手第一中学校(教室棟2)	4085		中学校	校舎	RC	1	305	1979	S54	40	旧	済	-	2007	41.8	長寿命	B	B	B	B	A	78
62	3835	取手第一中学校	取手第一中学校(体育館)	4086		中学校	体育館	RC	2	1,255	1979	S54	40	旧	済	済	2007	29.5	長寿命	B	B	B	B	A	78
63	3835	取手第一中学校	取手第一中学校(柔剣道場)	4087		中学校	武道場	S	1	353	1981	S56	38	旧	済	済	2007		長寿命	B	B	C	B	B	62
64	3835	取手第一中学校	取手第一中学校(プール付属棟)	4088		中学校	校舎	S	1	60	1979	S54	40	旧	-	-			要調査	C	C	C	C	C	40
65	3835	取手第一中学校	取手第一中学校(教室棟1.3.3.9.11.12)	4090		中学校	校舎	RC	4	5,973	1979	S54	40	旧	済	済	2007	39.6	長寿命	B	B	B	B	A	78
66	3831	旧取手第一中学校	旧取手第一中学校(プール付属棟)	4155		中学校	校舎	RC		77	2004	H16	15	新	-	-			要調査	B	B	A	A	A	91
67	3832	取手第二中学校	取手第二中学校(教室棟23)	4091		中学校	校舎	RC	4	1,572	1983	S58	36	新	-	-			長寿命	B	B	B	A	A	81
68	3832	取手第二中学校	取手第二中学校(体育館)	4092		中学校	体育館	RC	2	1,396	2007	H19	12	新	-	-			長寿命	B	A	A	A	A	91
69	3832	取手第二中学校	取手第二中学校(柔剣道場)	4093		中学校	武道場	S	1	359	1983	S58	36	新	-	-			長寿命	A	A	A	B	C	89
70	3832	取手第二中学校	取手第二中学校(プール付属棟)	4094		中学校	校舎	S	1	79	1965	S40	54	旧	-	-			要調査	C	C	C	C	C	40
71	3832	取手第二中学校	取手第二中学校(教室棟18-1-2-3-4-5)	4097		中学校	校舎	RC	4	5,498	1974	S49	45	旧	済	済	2005	31.28	長寿命	B	B	B	A	A	81
72	3833	永山中学校	永山中学校(教室棟16-1-2)	4098		中学校	校舎	RC	3	1,535	1973	S48	46	旧	済	済	2005	26.4	長寿命	B	B	C	B	A	65
73	3833	永山中学校	永山中学校(教室棟23-1-2)	4099		中学校	校舎	RC	3	2,647	1983	S58	36	新	-	-			長寿命	C	B	C	B	A	62
74	3833	永山中学校	永山中学校(教室棟27)	4100		中学校	校舎	S	1	246	1993	H5	26	新	-	-			長寿命	A	A	A	B	B	94
75	3833	永山中学校	永山中学校(体育館)	4101		中学校	体育館	S	1	938	1973	S48	46	旧	済	済	2005	25.9	長寿命	A	A	A	B	A	97
76	3833	永山中学校	永山中学校(柔剣道場)	4102		中学校	武道場	S	2	350	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	A	A	B	B	C	80
77	3833	永山中学校	永山中学校(プール付属棟)	4103		中学校	校舎	S	1	78	1966	S41	53	旧	-	-			要調査	C	C	C	C	C	40
78	3834	戸頭中学校	戸頭中学校(教室棟1-1-2-3-4)	4106		中学校	校舎	RC	4	3,949	1976	S51	43	旧	済	済	2006	26.7	長寿命	A	A	A	A	A	100
79	3834	戸頭中学校	戸頭中学校(教室棟10-1-2)	4107		中学校	校舎	RC	3	2,490	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100
80	3834	戸頭中学校	戸頭中学校(体育館)	4108		中学校	体育館	S	2	1,103	1977	S52	42	旧	済	済	2006	25	長寿命	B	A	A	A	A	98
81	3834	戸頭中学校	戸頭中学校(柔剣道場)	4109		中学校	武道場	S	1	349	1980	S55	39	旧	済	-			長寿命	B	B	C	B	B	62
82	3834	戸頭中学校	戸頭中学校(プール付属棟)	4110		中学校	校舎	S	1	54	1976	S51	43	旧	-	-			要調査	C	C	C	C	C	40
83	5233	藤代中学校	藤代中学校(教室棟1-1-2-3-5)	4113		中学校	校舎	RC	4	5,282	1977	S52	42	旧	済	済	2003	22.9	長寿命	B	C	C	B	A	65
84	5233	藤代中学校	藤代中学校(プール付属棟)	4114		中学校	校舎	S	1	81	1978	S53	41	旧	-	-			要調査	C	B	C	C	C	40
85	5233	藤代中学校	藤代中学校(体育館)	4115		中学校	体育館	SRC	2	1,406	1977	S52	42	旧	済	済	2006	28.35	長寿命	A	A	A	B	A	97
86	5233	藤代中学校	藤代中学校(技術棟)	4116		中学校	校舎	S	1	297	1977	S52	42	旧	済	-	2006	20.4	長寿命	A	C	C	C	C	45
87	5233	藤代中学校	藤代中学校(柔剣道場)	4117		中学校	武道場	S	2	501	1987	S62	32	新	-	-			長寿命	C	B	B	B	C	68
88	5234	藤代南中学校	藤代南中学校(教室棟1.10)	4121		中学校	校舎	RC	4	6,204	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100
89	5234	藤代南中学校	藤代南中学校(体育館)	4122		中学校	体育館	RC	2	1,308	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100
90	5234	藤代南中学校	藤代南中学校(柔剣道場)	4123		中学校	武道場	S	1	495	1987	S62	32	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100
91	5234	藤代南中学校	藤代南中学校(技術棟)	4124		中学校	校舎	S	1	286	1983	S58	36	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100
92	5234	藤代南中学校	藤代南中学校(プール付属棟)	4128		中学校	校舎	RC	1	81	1982	S57	37	新	-	-			要調査	C	C	C	C	C	40
93		取手小放課後子どもクラブ室	取手小放課後子どもクラブ室	4162		その他	その他	S	1	204	2008	H20	11	新	-	-			長寿命	B	B	A	A	A	91
94		取手東小放課後子どもクラブ室	取手東小放課後子どもクラブ室	4163		その他	その他	S	1	301	2014	H26	5	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100
95		寺原小放課後子どもクラブ室	寺原小放課後子どもクラブ室	4164		その他	その他	S	1	301	2014	H26	5	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100
96		戸頭小放課後子どもクラブ室	戸頭小放課後子どもクラブ室	4165		その他	その他	S	1	301	2014	H26	5	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100
97	K06	学校給食センター	学校給食センター	4160		給食センター	給食センター	S	1	1,166	1983	S58	36	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75

(4) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）

評価結果を踏まえ、今後の維持・更新コストを試算する。建替え中心の従来型から定期的な長寿命化型に切り替えた場合、直近10年間では、従来型では36.5億円/年のところ、長寿命化型では23.1億円/年となった。今後40年間で必要となる維持・更新コストはおおよそ609億円（15億円/年）となり、従来型では618億円（15.5億円/年）であり、更新コストの平準化ができる。40年間の総額では従来型と比べると9億円の縮減額となった。しかし、今後40年間では、人口減少に伴う税収減かつ、年少人口の減少も予測されることから、長寿命化改修工事等を実施するタイミングで、施設面積の縮減や他機能との複合化などを実施していかないと維持管理はできない結果となった。

図表 3-15 今後の維持・更新コスト（長寿命型）



今後40年間の建替え・大規模改修コストの試算（修繕費を含める場合）

(備考)

長寿命化型コストシミュレーションの試算条件

試算の期間：2021年度（R3）～2061年度（R43）の40年間

改築・改修までの周期：4-4 目標使用年数，改修周期の設定 参照

改築単価

費用区分	改築	大規模改修	長寿命化改修
単価	330,000 円/㎡	82,500 円/㎡ (改築単価の 25%)	198,000 円/㎡ (改築単価の 60%)
参考	総務省「公共施設及びインフラ資産の将来更新費用の比較分析に関する調査結果」(平成 24 年 3 月)		文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」(平成 27 年 4 月)

4. 学校施設整備の基本的な方針等

4-1 学校施設の長寿命化計画の基本方針

(1) 計画的な保全による長寿命化の推進

- ・ 定期点検等の実施による予防保全型の管理を実施し、安全性の確保を図りながらライフサイクルコストの低減を図る。また、必要に応じ長寿命化改修等を実施していくことを検討する。

(2) 地域コミュニティの核となる施設の活用

- ・ 学校機能に配慮しながら、児童生徒数の減少に伴う余剰教室・余剰スペースの発生状況を踏まえ、コミュニティ機能や福祉・子育て支援機能等を充実し施設の活用を図る。

(3) 民間活力の導入検討

- ・ 教育施設の整備に当たっては、PPP/PFI等、民間活力の導入を検討し、財政負担の軽減、民間のノウハウによるライフサイクルコストの低減を図る。

4-2 学校施設の規模・配置計画等の方針

(1) 適正規模・適正配置の実績

本市がこれまでに実施した学校施設の統廃合は以下のとおりである。なお、今後においても、少子化の進展により児童・生徒・園児数の減少が懸念されることから、必要な教育環境や保有規模を状況に応じて見直すことが課題となる。また、学校施設が地域の核となることも視野に入れながら、それぞれの地域特性や実情を踏まえた適正規模・適正配置計画を検討していく必要がある。

2011年度 (H23)	永山中と野々井中が統合し、永山中の位置に新しい永山中が開校
2012年度 (H24)	取手第一中と取手東中が統合し、取手東中の位置に新しい取手第一中が開校
2015年度 (H27)	小文間小・井野小・吉田小が統合し、吉田小の位置に取手東小が開校 戸頭東小と戸頭西小が統合し、戸頭東小の位置に新しい戸頭小が開校
2016年度 (H28)	白山西小と稲小が統合し、稲小の位置に取手西小が開校

(2) 適正な規模計画

学校施設の適正規模の検討については、施設面積の縮減といった観点のほか、学校周辺の地域コミュニティとの共存、少人数教育を特色とする教育（小規模特認校等）で実施されるメリットに十分配慮した上で計画・立案を行うことが必要である。

(3) 適正な配置計画

「とりで未来創造プラン2020」（令和2年4月）の市推計では、市内総人口は減少し2040年には、2015年に比べ、総人口17.4%、年少人口は10.5%の減少が予測される。そのため、今後は教室を活用した複合化・多機能化や将来的には長寿命化改修等や建替え時期に合わせて学校施設としての施設面積の削減を検討していく。

それらを踏まえて、適正な配置計画についての考え方や方向性を以下に示す。

① 配置の考え方

- ・ 学校規模の状況、児童生徒数減少の動向、適正な通学区の設定、地域への影響等、諸条件を総合的に判断した上で、近隣校との統合・整理を検討し、弾力的な配置に努めるものとする。

② 建替え時等の方向性

- ・児童生徒数の動態や余裕教室の状況等を踏まえ、必要面積を精査する。(規模縮減)
- ・「地域コミュニティの拠点」として、周辺のコミュニティ施設や福祉施設等との複合化、地域の防災拠点として機能強化を検討する。

4-3 改修等の基本的な方針

文部科学省では学校施設の長寿命化のメリットとして「改築と比較して工事費用の縮減や工期の短縮を行うことができる」、「限られた予算でより多くの施設の安全性を確保しつつ、機能の向上を図ることができる」、「改築と比べて廃棄物排出量や二酸化炭素量が減少し、大幅に環境負荷が低減する」ことなどを掲げている。本市においても学校施設の長寿命化によるメリットは大きいと考えられることから、構造躯体の健全性が確認でき、長寿命化改修工事等が可能な学校施設は長寿命化することとする。

① 機能性・安全性を優先的に確保

建物の劣化状況から、今後整備が必要とされる部位・部材が多くあることがわかった。既に施設の機能性や安全性の低下がみられる部位もあり、これらについては優先的に部位修繕や早期の改修による改善が必要である。改修時期については、築年数や劣化状況を基本に設定する。

② 事後保全型から予防保全型への転換

建物の長寿命化において、老朽が深刻化した後に修繕や更新を行う事後保全型の方法では、長期間における機能の維持や建物の使用が困難になる可能性があり、突発的な不具合に伴う多額な費用の発生も懸念される。そのため今後は、劣化や損傷が軽微である早期段階から補修やメンテナンスを施す予防保全型の考え方に転換し、突発的な不具合を未然に防止していくことで、建物の長寿命化を行う。

③ 教育環境の改善

学校施設は児童生徒が生活の多くの時間を過ごす場であることから、社会変化による施設要求に対応するための整備も、施設を長期間使用するために必要となる。長寿命化改修工事等を実施する際には、省エネ化や暑さ対策等、社会的な要求にも配慮した改修計画とする。

④ 点検・改修履歴の整理、蓄積

点検・改修履歴をデータベース化することや、学校施設利用者へのヒアリング、各学校施設担当者の意見を反映した改修内容を整理、蓄積していくことで、より適切な改修工事を実施する。

4-4 目標使用年数，改修周期の設定

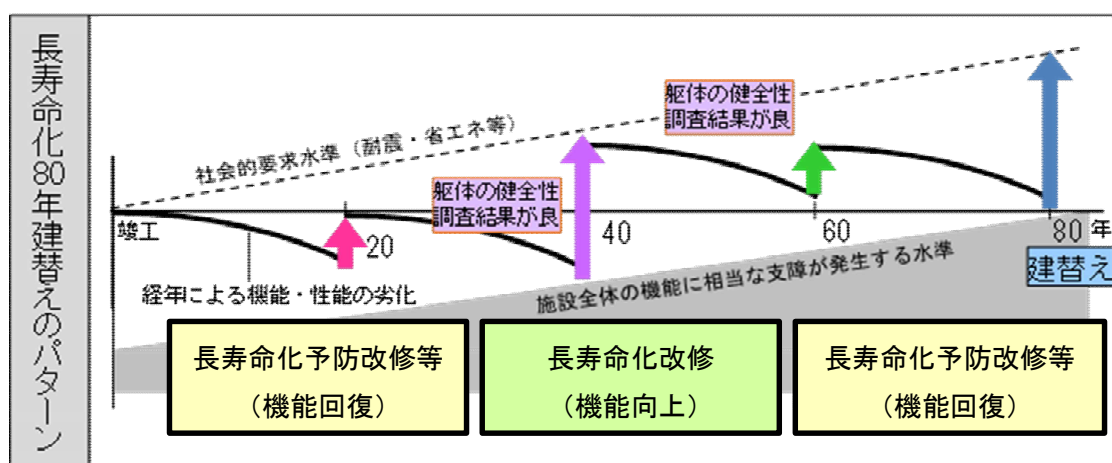
耐震診断を行った建築物のコンクリートの中性化調査結果によると，おおむね全部の建物で中性化進行速度が標準より良好であり，80年以上使用できる可能性が高いことから，構造躯体の目標耐用年数を80年とする。

ただし新耐震基準に適合している建築物は，長寿命化改修工事を実施する前に，コンクリート中性化，鉄筋腐食状況等の躯体の健全性調査を行い，躯体の健全性が確認できたら長寿命化のための修繕・改修工事を実施する。

なお，80年の供用期間の中で，築20年に原状回復のための長寿命化予防改修等，目標使用年数の中間期である築40年に長寿命化改修，築60年で再度原状回復のための長寿命化予防改修等を行う設定とし，定期的に必要な改修を実施することで建物の延命化を図る。

	目標使用年数	長寿命化 予防改修等の周期	長寿命化改修の周期
対象建物	80年	築20年／60年	築40年

図表 4-1 改築中心から長寿命化への転換イメージ



出典：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月）改

■長寿命化への対応に適さない施設（例）

- 鉄筋コンクリートの劣化が著しく，改修に多額の費用がかかるため，改築の方が経済的に望ましい施設
- コンクリート圧縮強度が著しく低い施設（ 13.5N/mm^2 以下）
- 基礎の多くの部分で鉄筋が腐食している施設
- 学校の適正配置や周辺公共施設との複合化などを検討した結果，建て替えなどの方針となった施設

5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

5-1 改修等の整備水準

改修等の基本的な方針を踏まえ、本計画の長寿命化計画に必要な整備水準を検討する。

(1) 基本的な改修事項

① 構造躯体の長寿命化

躯体については、80年使用することを目標とし、共用期間中で築40年目の長寿命化改修の実施前に躯体の健全性調査として、コア抜き及びはつり調査を実施し、鉄筋の腐食度や圧縮強度・中性化深さ測定を行い、残存耐用年数を算定・評価し、目標耐用年数に応じて必要となる修繕・改修内容を実施する。

② 屋根・外壁等の外装材

屋根・外壁等の外装材は、破断・欠損等すると漏水を引き起こし、構造躯体の耐久性に大きな影響を与える。そのため、耐用年数に応じて外装材の補修や更新を行い、漏水を未然に防ぐ必要がある。

具体的に、破損部の部分補修、雨どいの詰まりには堆積物の清掃など、定期的な点検の上で予防保全を計画的に実施していくことで、外装材の耐用年数まで最大限に使用することを可能にする。

③ 内部仕上げ

内部仕上げは建物の長寿命化には直接の影響はないが、社会的要求を満たす機能や性能を検討する必要がある。具体的には、内装仕上げ材や家具など老朽部分の補修・復旧のほか、非構造部材の耐震対策、高断熱・高気密な製品の導入等が挙げられる。

④ 設備機器

設備機器については、老朽化に対する補修や交換に加え、長寿命化改修工事等のタイミングで必要に応じて空調機の設置や電気容量の増設の検討を行う。設備機器はメンテナンス性に配慮した配置とし、さらにはLED照明等の高効率機器の導入を検討し、イニシャルコスト・ランニングコストを踏まえて改修項目を選定する。

⑤ バリアフリー化

障害のある児童生徒、教職員等が安全かつ円滑に学校生活を送ることができるように、障害の状態や特性、ニーズに応じた計画とする。また、その際にスロープ及び手すり等の設置、トイレの洋式化、エレベーター設置を検討する。

(2) その他の配慮事項

① プールの整備方針

学校プールの多く（76％）は築30年以上経過し、劣化が著しく、改修・更新が必要とされている。しかしながら、全て改修・更新するのは、財政的に困難であると予想される。

現在は市営プール及び民間プールを利用して、小学校5校・中学校5校が民間事業者と連携し、水泳授業を実施している。

現在使用中のプールにおいても、改修・更新が必要になった場合には、民間プールの利用を推進していくが、民間プールの受入れには限りがあること、市営プールの利用については、ほぼ限界に近いことから、民間活力導入により既存プールの再整備を図り、学校プールを集約することを検討する。

② 給食の在り方について

現在の給食運営方式は、取手地域は、各学校に設置した給食室による「単独校調理方式」、藤代地域は、学校給食センターによる「共同調理場調理方式」と、2つの方式で市立幼稚園、小中学校へ提供している。

市教委は市町合併の際、「単独校調理方式」に一本化する方針を示したが、その後、2008年(H20年)に発生したリーマンショックは市財政に大きな影響を与え、2011年(H23年)の東日本大震災によって子どもの安全確保を最優先とし耐震補強を急いだことで、結果的に一本化は進展していない。しかしながら、学校給食センターは築37年を経過し、老朽化が進んでいるため、将来の改修更新の方向性を示さなければならない時期に来ている。一方で2020年(R2)10月、取手市立学校等給食運営協議会から、現状では「単独校調理方式」への統一は困難として、今後も学校給食センターの継続運用を認める内容の答申が示されたこともあり、今後の財政状況や児童生徒数の推移等を注視しつつ、当面の間、2方式ともに機能を保持することに注力する。

③ 放課後子どもクラブ室

学校施設と複合して設置されている放課後子どもクラブ室（教室）は、学校施設の改修・更新に併せて、施設の最適化を検討する。なお、学校に隣接して単独建築物として設置された放課後子どもクラブ室については、学校施設の整備に準じるものとする。

5-2 維持管理の項目・手法等

学校施設をできる限り長く、安全で良好な状態で使用するために、今後は、従来のような不具合が生じた後に、補修・修理を行う事後保全型の管理から、不具合を未然に防ぎ、劣化や損傷が顕在化する前の段階から予防的に対策などを実施することで、機能の維持・回復を図る計画的な予防保全型の維持管理へ転換していく。

計画的な予防保全型の維持管理では、日常的、定期的な施設の点検を実施することが重要である。

日常的、定期的な点検により、建物の劣化状況を把握することで、故障や不具合の兆候を早期に発見することができるため、突発的な事故・故障が発生する可能性を減少でき、児童生徒の安全・安心が確保できるとともに、緊急対応に要する修繕費用を縮減することが可能となる。

また、学校施設所管課職員による現地調査結果や各種点検における修繕必要箇所などの情報、並びに工事履歴や維持管理経費等を、2014年度（H26）に導入した「公共施設マネジメントシステム」に継続して入力することで、情報の一元管理と共用化を図り、計画的な学校施設の維持管理に取り組んでいく。

図表 5-1 各種点検実施表

調査主体	調査者	点検種別	実施時期	点検内容
学 校	教職員など	学校保健安全法に基づく安全点検	・日常	・日常的な設備の点検
			・每学期定期	・児童生徒などが通常使用する施設及び設備の異常の有無
			・必要があるとき	・必要な点検
学校設置者（学校施設所管課）	専門業者	建築基準法第12条に基づく定期点検	・建築物の敷地・構造は3年以内ごと	・敷地，建築構造，建築仕上げ，防火区画，建築設備などの損傷，腐食その他の劣化状況
			・特定建築設備（昇降機，その他）は1年以内ごと	
		各種設備などの法定点検	・各月	・受変電設備（キュービクル）
			・年2回	・浄化槽設備
	各種設備の自主点検	・3年に1回	・消防用設備	
		・年1回	・電気・ガス空調点検	
	・年2回	・プールろ過装置		
学校施設所管課職員	現地調査	・年1回	・施設の劣化状況の把握，不具合箇所の確認	
		・3年に1回	・非構造部材の点検	
		「非構造部材の耐震化ガイドブック」に基づく点検		

6. 長寿命化の実施計画

6-1 改修等の優先順位付けと実施計画

(1) 改修等の優先順位付けと実施計画

実施時期の考え方

「学校施設の実態」や「学校施設整備の基本的な考え方」、「施設整備の水準等」を踏まえ、学校施設の改修等に関する優先順位付けの考え方を示す。

優先順位付けについては、健全度の点数が低い施設から順に行うことを基準とするが、改修等の実施時期の平準化を図るため、次の点を考慮して、優先順位付けを行うものとする。

建物ごとの整備実施年度は5年単位で設定する

- 本計画における劣化状況調査結果
- 築年数
- 過去の改修履歴
- 長寿命化改修及び大規模改修は基本的に学校単位で行う。
- 緊急性の高い部位、劣化状況調査でD・C評価があるものは、今後優先的に部位修繕を行う。ただし、改築・長寿命化改修等を前後に10年以内に実施する場合を除く。

なお、本計画における優先順位付けについては、施設の劣化状況などの観点から行うものであり、今後、公共施設等総合管理計画の方針に基づき、学校規模の状況や児童生徒数の推移、学校周辺の公共施設の状況など、各学校を取り巻く環境を総合的に判断した上で、具体的に検討する。

図表 6-1 優先順位付けの考え方



上記を踏まえた整備スケジュールを次項に示す。

(2) 整備スケジュール

直近5年の整備スケジュール

図表 6-2 整備スケジュール

(百万円)

事業名称	2020		2021		2022		2023		2024	
	R2		R3		R4		R5		R6	
	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
新增築事業										
改築事業										
耐震化事業 (非構造部材の 対策含む)										
長寿命化改修					白山小	297	白山小	436	白山小	351
大規模改造(老朽)	宮和田小	398	藤代小	387						
防災関連事業	寺原小 宮和田小	5 155	藤代小	95						
トイレ整備	宮和田小 取手東小 (体育館) 桜が丘小 (体育館)	112 11	桜が丘小 (校舎) 中学校 桜が丘小 (2校分校舎、 4校分武道場)	140 90	白山小	8	白山小	50	白山小	5
空調整備	中学校 5校分	360	高井小 給食 センター	54 58						
障害児等対策 (特別支援学校の整 備等)	宮和田小	18	高井小 藤代小	21 127						
教育内容	宮和田小	43	高井小 藤代小	21 14						
部位修繕										
その他施設整備費		55		55		55		55		55
維持修繕費		23		23		23		23		23
光熱水費・委託費		185		185		185		185		185
合計		1,376		1,270		568		749		619
財政制約		636		636		636		636		636
差額		-740		-634		68		-113		17

※財政状況、社会情勢の変化等によっては、この計画に変更が生じる場合があります。適時同計画の見直しを行います。

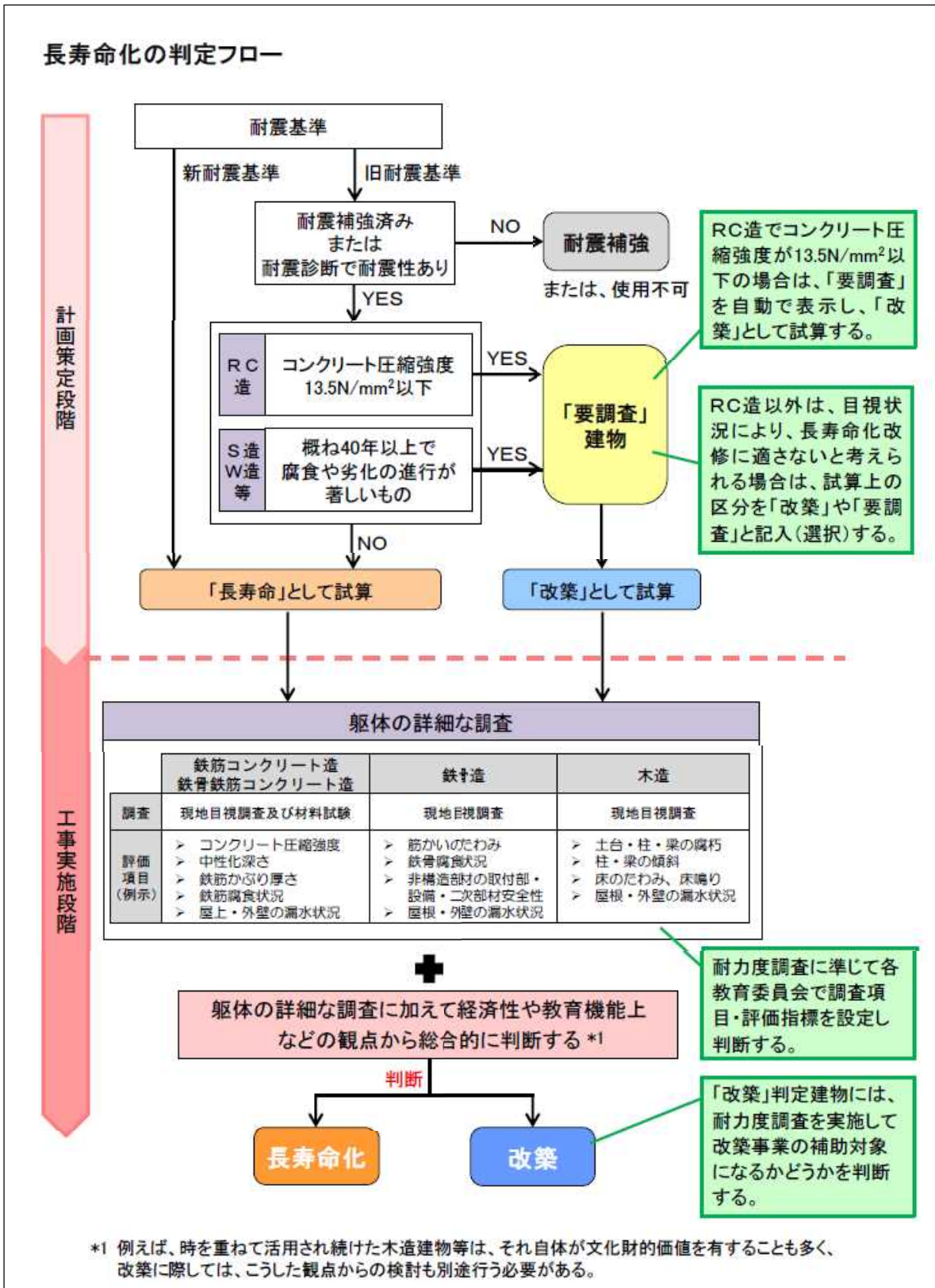
図表 6-3 優先順位一覧表

建物基本情報												構造躯体の健全性						劣化状況評価
優先順位	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			健全度 (100点満点)
				学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分	
1	宮和田小学校、宮和田小放課後子どもクラブ室	宮和田小学校(教室棟1.5-1・2・3)	4071	小学校	校舎	RC	3	5,285	1981	S56	38	旧	済	-	2007	36	長寿命	18
2	取手西小学校	取手西小学校(プール付属棟5)	4048	小学校	校舎	S	1	60	1982	S57	37	新	-	-			要調査	31
3	藤代小学校、藤代幼稚園	藤代小学校(教室棟5)含む幼稚園	4066	小学校	校舎	RC	4	4,431	1978	S53	41	旧	済	済	2003	29.4	長寿命	36
4	白山小学校	白山小学校(教室棟3)	4006	小学校	校舎	RC	2	856	1958	S33	61	旧	済	-	2004	20.8	長寿命	37
5	白山小学校、白山小放課後子どもクラブ室	白山小学校(教室棟7)	4007	小学校	校舎	RC	2	598	1963	S38	56	旧	済	済	2004	26.6	長寿命	37
6	白山小学校	白山小学校(教室棟8-1・2・3)	4008	小学校	校舎	RC	2	1,142	1968	S43	51	旧	済	済	2004	29.9	長寿命	37
7	白山小学校	白山小学校(給食棟11)	4009	小学校	その他	RC	1	136	1972	S47	47	旧	-	-			長寿命	37
8	白山小学校	白山小学校(教室棟16)	4010	小学校	校舎	RC	2	1,183	1979	S54	40	旧	済	済	2004	32.4	長寿命	37
9	白山小学校	白山小学校(付属棟19.20.21)	4012	小学校	校舎	S	1	54	1980	S55	39	旧	-	-			要調査	37
10	白山小学校	白山小学校(体育館)	4013	小学校	体育館	S	2	664	1975	S50	44	旧	済	済			長寿命	40
11	白山小学校	白山小学校(教室棟13)	4167	小学校	校舎	RC	2	593	1978	S53	41	旧	済	済	2004	35.5	長寿命	40
12	寺原小学校	寺原小学校(付属棟6.19)	4019	小学校	校舎	S	1	37	1969	S44	50	旧	-	-			要調査	40
13	取手東小学校	取手東小学校(機械室)	4024	小学校	校舎	S	1	53	1977	S52	42	旧	-	-			要調査	40
14	永山小学校	永山小学校(付属棟6.14)	4030	小学校	校舎	S	1	62	1970	S45	49	旧	-	-			要調査	40
15	取手西小学校	取手西小学校(機械室4)	4049	小学校	校舎	S	1	7	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	40
16	高井小学校	高井小学校(プール付属棟4)	4054	小学校	校舎	S	1	60	1982	S57	37	新	-	-			要調査	40
17	山王小学校	山王小学校(プール付属棟)	4060	小学校	校舎	W	1	25	1969	S44	50	旧	-	-			要調査	40
18	山王小学校	山王小学校(プール機械室)	4061	小学校	校舎	W	1	16	1969	S44	50	旧	-	-			要調査	40
19	六郷小学校	六郷小学校(プール付属棟)	4064	小学校	校舎	S	1	88	1985	S60	34	新	-	-			要調査	40
20	藤代小学校	藤代小学校(プール付属棟)	4069	小学校	校舎	S	1	10	1968	S43	51	旧	-	-			要調査	40
21	宮和田小学校	宮和田小学校(プール付属棟)	4073	小学校	校舎	RC	1	86	1982	S57	37	新	-	-			要調査	40
22	久賀小学校	久賀小学校(プール付属棟4.5)	4079	小学校	校舎	S	1	60	1974	S49	45	旧	-	-			要調査	40
23	取手第一中学校	取手第一中学校(プール付属棟)	4088	中学校	校舎	S	1	60	1979	S54	40	旧	-	-			要調査	40
24	取手第二中学校	取手第二中学校(プール付属棟)	4094	中学校	校舎	S	1	79	1965	S40	54	旧	-	-			要調査	40
25	永山中学校	永山中学校(プール付属棟)	4103	中学校	校舎	S	1	78	1966	S41	53	旧	-	-			要調査	40
26	戸頭中学校	戸頭中学校(プール付属棟)	4110	中学校	校舎	S	1	54	1976	S51	43	旧	-	-			要調査	40
27	藤代中学校	藤代中学校(プール付属棟)	4114	中学校	校舎	S	1	81	1978	S53	41	旧	-	-			要調査	40
28	藤代南中学校	藤代南中学校(プール付属棟)	4128	中学校	校舎	RC	1	81	1982	S57	37	新	-	-			要調査	40
29	取手東小学校	取手東小学校(体育館)	4023	小学校	体育館	RC	2	924	1977	S52	42	旧	済	-	2007	31.8	長寿命	43
30	宮和田小学校	宮和田小学校(体育館)	4072	小学校	体育館	S	1	926	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	43

31	藤代中学校	藤代中学校(技術棟)	4116	中学校	校舎	S	1	297	1977	S52	42	旧	済	-	2006	20.4	長寿命	45
32	桜が丘小学校、桜が丘小放課後子どもクラブ室	桜が丘小学校(教室棟1.2)	4081	小学校	校舎	RC	3	4,976	1993	H5	26	新	-	-			長寿命	49
33	取手第一中学校	取手第一中学校(柔剣道場)	4087	中学校	武道場	S	1	353	1981	S56	38	旧	済	済	2007		長寿命	62
34	戸頭中学校	戸頭中学校(柔剣道場)	4109	中学校	武道場	S	1	349	1980	S55	39	旧	済	-			長寿命	62
35	桜が丘小学校	桜が丘小学校(プール付属棟)	4083	小学校	校舎	RC	1	83	1993	H5	26	新	-	-			要調査	62
36	永山中学校	永山中学校(教室棟23-1・2)	4099	中学校	校舎	RC	3	2,647	1983	S58	36	新	-	-			長寿命	62
37	永山中学校	永山中学校(教室棟16-1.2)	4098	中学校	校舎	RC	3	1,535	1973	S48	46	旧	済	済	2005	26.4	長寿命	65
38	藤代中学校	藤代中学校(教室棟1-1・2・3・5)	4113	中学校	校舎	RC	4	5,282	1977	S52	42	旧	済	済	2003	22.9	長寿命	65
39	藤代中学校	藤代中学校(柔剣道場)	4117	中学校	武道場	S	2	501	1987	S62	32	新	-	-			長寿命	68
40	桜が丘小学校	桜が丘小学校(体育館)	4082	小学校	体育館	S	1	862	1993	H5	26	新	-	-			長寿命	75
41	学校給食センター	学校給食センター	4160	給食センター	給食センター	S	1	1,166	1983	S58	36	新	-	-			長寿命	75
42	取手第一中学校	取手第一中学校(教室棟2)	4085	中学校	校舎	RC	1	305	1979	S54	40	旧	済	-	2007	41.8	長寿命	78
43	取手第一中学校	取手第一中学校(体育館)	4086	中学校	体育館	RC	2	1,255	1979	S54	40	旧	済	済	2007	29.5	長寿命	78
44	取手第一中学校	取手第一中学校(教室棟1.3.5.9.11.12)	4090	中学校	校舎	RC	4	5,973	1979	S54	40	旧	済	済	2007	39.6	長寿命	78
45	永山中学校	永山中学校(柔剣道場)	4102	中学校	武道場	S	2	350	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	80
46	取手小学校	取手小学校(教室棟17-1・2・3)	4001	小学校	校舎	RC	4	4,466	2002	H14	17	新	-	-			長寿命	81
47	取手小学校	取手小学校(教室棟18)	4002	小学校	校舎	RC	2	793	2002	H14	17	新	-	-			長寿命	81
48	取手小学校	取手小学校(教室棟19-1・2)	4003	小学校	校舎	RC	3	1,268	2002	H14	17	新	-	-			長寿命	81
49	取手第二中学校	取手第二中学校(教室棟23)	4091	中学校	校舎	RC	4	1,572	1983	S58	36	新	-	-			長寿命	81
50	取手第二中学校	取手第二中学校(教室棟18-1・2・3・4・5)	4097	中学校	校舎	RC	4	5,498	1974	S49	45	旧	済	済	2005	31.28	長寿命	81
51	取手東小学校	取手東小学校(教室棟1-1・2・3)	4021	小学校	校舎	RC	4	3,465	1977	S52	42	旧	済	済	2007	29.7	長寿命	84
52	戸頭小学校	戸頭小学校(教室棟1-1・1-2)	4039	小学校	校舎	RC	4	2,555	1978	S53	41	旧	済	済	2008	21.5	長寿命	85
53	戸頭小学校	戸頭小学校(教室棟6-1)	4040	小学校	校舎	RC	4	979	1984	S59	35	新	-	-			長寿命	85
54	戸頭小学校	戸頭小学校(教室棟1-3.6-2)	4168	小学校	校舎	RC	4	1,658	1980	S55	39	旧	済	済	2008	32.3	長寿命	85
55	取手第二中学校	取手第二中学校(柔剣道場)	4093	中学校	武道場	S	1	359	1983	S58	36	新	-	-			長寿命	89
56	寺原小学校	寺原小学校(教室棟20)	4018	小学校	校舎	RC	3	61	2008	H20	11	新	-	-			長寿命	91
57	戸頭小学校	戸頭小学校(プール付属棟)	4041	小学校	校舎	RC	1	104	2003	H15	16	新	-	-			要調査	91
58	藤代小学校、藤代小放課後子どもクラブ室	藤代小学校(体育館)	4067	小学校	体育館	S	2	1,342	2007	H19	12	新	-	-			長寿命	91
59	旧取手第一中学校	旧取手第一中学校(プール付属棟)	4155	中学校	校舎	RC		77	2004	H16	15	新	-	-			要調査	91
60	取手第二中学校	取手第二中学校(体育館)	4092	中学校	体育館	RC	2	1,396	2007	H19	12	新	-	-			長寿命	91
61	取手小放課後子どもクラブ室	取手小放課後子どもクラブ室	4162	その他	その他	S	1	204	2008	H20	11	新	-	-			長寿命	91
62	永山中学校	永山中学校(教室棟27)	4100	中学校	校舎	S	1	246	1993	H5	26	新	-	-			長寿命	94
63	寺原小学校	寺原小学校(教室棟9)	4014	小学校	校舎	RC	2	326	1971	S46	48	旧	済	済	2004	36.6	長寿命	97
64	寺原小学校	寺原小学校(管理教室棟13)	4015	小学校	校舎	RC	3	1,373	1977	S52	42	旧	済	済	2004	31.5	長寿命	97
65	寺原小学校	寺原小学校(教室棟15)	4016	小学校	校舎	RC	3	1,236	1980	S55	39	旧	済	済	2004	33.4	長寿命	97
66	寺原小学校	寺原小学校(教室棟16)	4017	小学校	校舎	RC	3	1,121	1980	S55	39	旧	済	済	2004	36.1	長寿命	97

67	寺原小学校	寺原小学校(体育館)	4020	小学校	体育館	S	1	674	1974	S49	45	旧	済	済			長寿命	97
68	戸頭小学校	戸頭小学校(体育館)	4044	小学校	体育館	RC	2	947	1979	S54	40	旧	済	済	2008	43.1	長寿命	97
69	取手西小学校、げんきサロン 稲、取手西小放課後子どもクラブ室	取手西小学校(教室棟1-1・1-2)	4045	小学校	校舎	RC	4	5,208	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	97
70	取手西小学校	取手西小学校(体育館2)	4051	小学校	体育館	RC	2	952	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	97
71	高井小学校	高井小学校(体育館)	4055	小学校	体育館	RC	2	904	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	97
72	山王小学校	山王小学校(教室棟12)	4056	小学校	校舎	RC	3	1,772	1984	S59	35	新	-	-			長寿命	97
73	山王小学校、山王小放課後子どもクラブ室	山王小学校(教室棟8)	4057	小学校	校舎	S	2	806	1972	S47	47	旧	済	済			長寿命	97
74	山王小学校	山王小学校(体育館10)	4058	小学校	体育館	S	1	687	1979	S54	40	旧	済	済			長寿命	97
75	六郷小学校、六郷小放課後子どもクラブ室	六郷小学校(教室棟)	4062	小学校	校舎	RC	3	2,339	1979	S54	40	旧	済	済	2007	31.7	長寿命	97
76	永山中学校	永山中学校(体育館)	4101	中学校	体育館	S	1	938	1973	S48	46	旧	済	済	2005	25.9	長寿命	97
77	藤代中学校	藤代中学校(体育館)	4115	中学校	体育館	SRC	2	1,406	1977	S52	42	旧	済	済	2006	28.35	長寿命	97
78	取手小学校	取手小学校(体育館)	4004	小学校	体育館	RC	2	1,241	2003	H15	16	新	-	-			長寿命	98
79	永山小学校	永山小学校(教室棟15)	4028	小学校	校舎	RC	3	5,647	2011	H23	8	新	-	-			長寿命	98
80	永山小学校、永山小放課後子どもクラブ室	永山小学校(地域学校連携施設)	4029	小学校	校舎	RC	2	373	2011	H23	8	新	-	-			長寿命	98
81	永山小学校	永山小学校(体育館)	4031	小学校	体育館	S	1	925	2012	H24	7	新	-	-			長寿命	98
82	戸頭中学校	戸頭中学校(体育館)	4108	中学校	体育館	S	2	1,103	1977	S52	42	旧	済	済	2006	25	長寿命	98
83	取手東小学校	取手東小学校(教室棟11・12)	4022	小学校	校舎	RC	2	1,305	2014	H26	5	新	-	-			長寿命	100
84	高井小学校、高井小放課後子どもクラブ室	高井小学校(教室棟1-1・2)	4052	小学校	校舎	RC	3	4,214	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	100
85	六郷小学校	六郷小学校(体育館)	4065	小学校	体育館	S	1	739	1980	S55	39	旧	済	済			長寿命	100
86	久賀小学校	久賀小学校(教室棟1-1・2)	4075	小学校	校舎	RC	3	2,498	1973	S48	46	旧	済	-	1996	20.9	長寿命	100
87	久賀小学校	久賀小学校(教室棟2-1・2・3・4)	4158	小学校	校舎	RC	3	2,052	1973	S48	46	旧	済	済	2006	25.5	長寿命	100
88	久賀小学校	久賀小学校(体育館)	4076	小学校	体育館	S	1	807	1975	S50	44	旧	済	済			長寿命	100
89	戸頭中学校	戸頭中学校(教室棟1-1・2・3・4)	4106	中学校	校舎	RC	4	3,949	1976	S51	43	旧	済	済	2006	26.7	長寿命	100
90	戸頭中学校	戸頭中学校(教室棟10-1・2)	4107	中学校	校舎	RC	3	2,490	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	100
91	藤代南中学校	藤代南中学校(教室棟1,10)	4121	中学校	校舎	RC	4	6,204	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	100
92	藤代南中学校	藤代南中学校(体育館)	4122	中学校	体育館	RC	2	1,308	1982	S57	37	新	-	-			長寿命	100
93	藤代南中学校	藤代南中学校(柔剣道場)	4123	中学校	武道場	S	1	495	1987	S62	32	新	-	-			長寿命	100
94	藤代南中学校	藤代南中学校(技術棟)	4124	中学校	校舎	S	1	286	1983	S58	36	新	-	-			長寿命	100
95	取手東小放課後子どもクラブ室	取手東小放課後子どもクラブ室	4163	その他	その他	S	1	301	2014	H26	5	新	-	-			長寿命	100
96	寺原小放課後子どもクラブ室	寺原小放課後子どもクラブ室	4164	その他	その他	S	1	301	2014	H26	5	新	-	-			長寿命	100
97	戸頭小放課後子どもクラブ室	戸頭小放課後子どもクラブ室	4165	その他	その他	S	1	301	2014	H26	5	新	-	-			長寿命	100

図表 6-4 長寿命化の判定フロー



出典：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月）

(3) 計画期間ごとの整備内容

実施計画の期間は10年ごとに区切ることで、各段階で整備内容やコストの見直しが行えるものとする。以下に、10年ごとの整備内容をまとめる

前期	<p>第1期 (2021～2030)</p> <ul style="list-style-type: none">・劣化状況調査のD・C評価の部位修繕を実施する。さらに、「図表 3-13. 評価一覧表」にて緊急的な対応を要する部分についても清掃や補修等、優先的な現状復旧を行う。・築40年を迎えた建物については今後10年間を目安に長寿命化改修を実施する。しかし、現時点で既に築40年を迎えている建物については、老朽化が深刻化している建物から優先して整備する。・築20年を迎える建物については今後、10年間を目安に長寿命化予防改修等を実施する。
中期	<p>第2期 (2031～2040) ・ 第3期 (2041～2050)</p> <ul style="list-style-type: none">・第2期、第3期の20年間で築40年程度を迎える建物の長寿命化改修、築20年/60年を迎える建物の長寿命化予防改修等を中心に実施する。・整備実施前にはその時点での緊急箇所の有無を点検やヒアリングの実施により現状把握し直すことが重要である。
後期	<p>第4期 (2051～2060)</p> <ul style="list-style-type: none">・築80年を迎える建物の改築、築60年を迎える建物の長寿命化予防改修等を中心とした整備が要される。・この時期においては、整備に対する要求や長寿命化実施の妥当性を見直す必要がある。

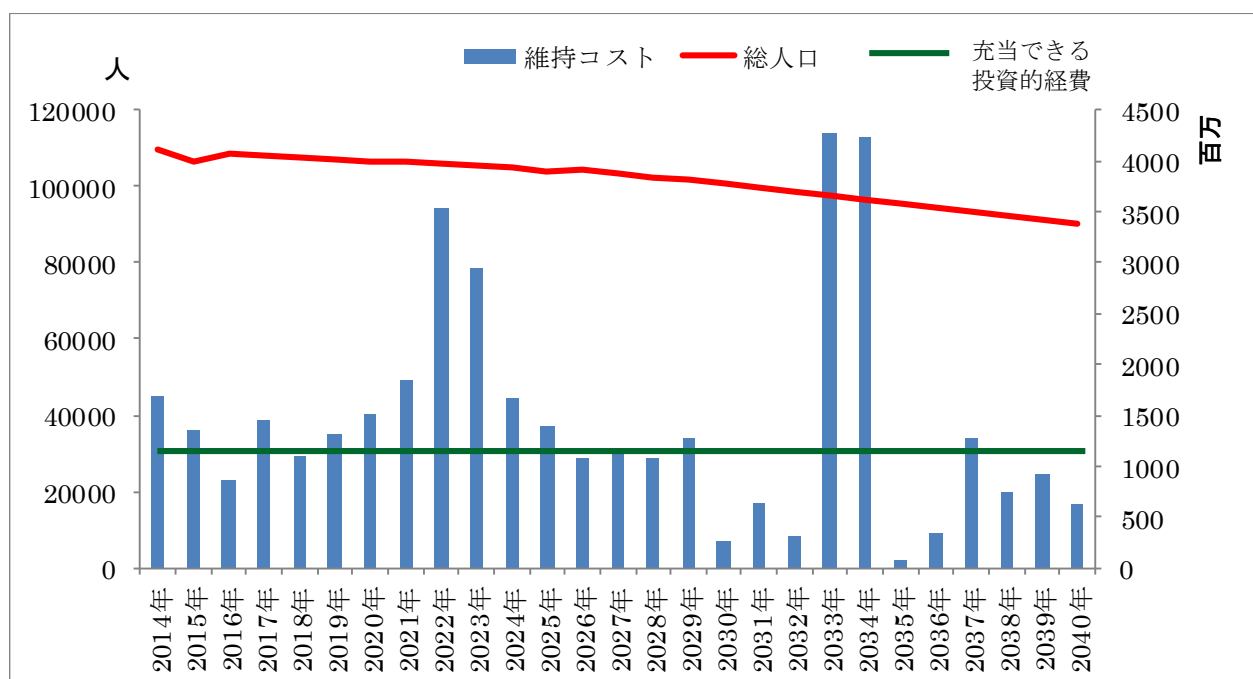
6-2 長寿命化のコストの見通し，長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

コスト計画における今後の課題

保有する学校施設を，今後も長寿命化して使用し続ける場合に係る維持コストと，総人口の予測をまとめたものを以下の図表 6-5 に示す。長寿命化することによって，従来型の維持コストに比べれば，平準化及び縮減が見込めるが，公共施設全体で充当できる投資的経費（取手市公共施設等総合管理計画：平成 28 年 8 月）では賄いきれない結果となった。一方で，人口減少を食い止めるための施策を行った上でも，人口は緩やかに減少を続ける中で，これまでどおりの施設数を保有していくことを見直していく必要がある。見直すタイミングとしては，本計画において，今後，予定している長寿命化改修工事等が近づく時期に，建物構造躯体の健全性の確認とあわせて行っていく。

なお，見直す際には，集約化や他機能との統合も検討し，学校施設としての単独機能から，地域コミュニティの核となり，「地域の学校」としてこれまで親しまれてきた施設を，地域活動や交流の拠点になるような施設として，継続していくことも検討する。

図表 6-5 学校施設の維持コストと総人口の予測



7. 長寿命化計画の継続的運用方針

7-1 情報基盤の整備と活用

公共施設マネジメントシステムを活用して、施設の基本情報、光熱水費をはじめとする運営経費、工事履歴や劣化情報を一元管理していく。

7-2 推進体制等の整備

学校施設の所管課である教育委員会教育総務課を中心に、本計画を含む学校施設のマネジメントを行っていく。今後全庁横断的な取り組みを推進していくためのマネジメント体制が構築された場合は、連携対応を図っていくものとする。

また、日常の施設管理の質を向上させるために、施設管理の専門家による毎月の巡回点検や各種報告書を活用して不具合箇所の早期把握と対応を図るために、民間活力の導入を検討する。

7-3 フォローアップ

本計画は、学校施設を維持させていくことを前提としたものであり、市全体の財政計画において年次及び個別の事業費を精査していくとともに、事業の進捗状況、少子化等の社会状況を踏まえた上で、本計画は10年ごとに見直しを図るものとする。